

ねんど
2019年度
Academic Year 2019

じゅ ぎょう あん ない
授 業 案 内

COURSE GUIDE



みえだいがくこくさいこうりゅう
三重大学国際交流センター

*Center for International Education and Research,
Mie University*

2019. 4.

目次 Contents

I. 日本語教育コース Japanese Language Education Course

1. 授業案内（前期）Syllabi

①必修科目 Required Classes (Spring Semester) 29

②選択科目 Electives (Spring Semester) 46

2. 授業案内（後期）Syllabi

①必修科目 Required Classes (Fall Semester) 60

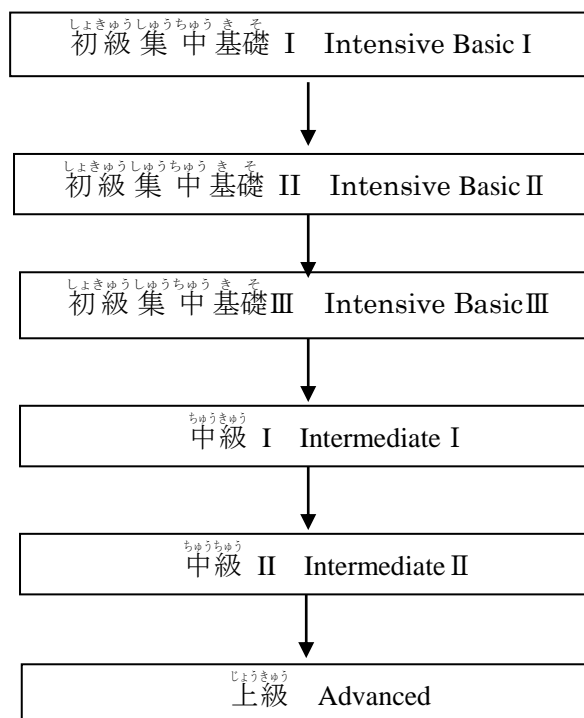
②選択科目 Electives (Fall Semester) 77

II. 国際キャリアアップコース International Career Development Course

授業案内（前期・後期）Syllabi (Spring Semester・Fall Semester)・88

1. Course Design

1. コースデザイン



国際交流センターの日本語の授業を受ける留学生は、原則として日本語レベル判定試験を受けてください。そのテストの結果によってレベル分けを行います。発表された自分のレベルを確認して、授業を受けてください。JEES日本語能力試験（JLPT）N1合格のコピーを期限内に提出した者及び前の学期で進級できた者は、日本語レベル判定試験とオリエンテーションを受ける必要はありません。

Basically, international students who want to take Japanese Classes at CIER are required to take the Placement Test. The appropriate classes are recommended based on the results of the Test. Please attend the classes after confirming your level presented. Students who submit a photocopy of the certificate of JLPT N1 and those who passed the course in the last semester may not take a Placement Test and attend an Orientation Session.

※日本語レベル判定試験を受ける事

初級集中基礎Ⅰ	文法 総合	3コマ/週	
計		3	※全て合格で進級できます。

初級集中基礎Ⅱ	文法 総合	3コマ/週	
計		3	※全て合格で進級できます。

初級集中基礎Ⅲ	文法 総合	3コマ/週	
計		3	※全て合格で進級できます。

(初級集中基礎Ⅰ,Ⅱ,Ⅲは、専門の勉学・研究に日本語を必要としない学生のためのクラス。)

中級Ⅰ		
文法・読解	1コマ/週	
読解・作文	1	
聴解	1	
会話	1	
文法(後期のみ)	1	
計	5	

※3科目以上合格で進級
できます。

中級Ⅱ		
文法・読解	1コマ/週	
読解・作文	1	
聴解・会話	1	
計	3	

※2科目合格で進級
できます。

上級		
上級総合日本語1	1コマ/週	
上級総合日本語2	1	
計	2	

選択科目

[初級集中基礎Ⅰ、Ⅱ]
文字・語彙1 1コマ/週

[初級集中基礎Ⅲ]
中級へのステップ
アップクラス 1コマ/週

[中級Ⅰ]
中級へのステップ
アップクラス 1コマ/週

[中級Ⅱ]
中級へのステップ
アップクラス 1コマ/週

上級へのステップ
アップクラス 1

日本事情1 1

計 3

[上級]
上級へのステップ
アップクラス 1コマ/週

日本事情1 1

日本事情2(後期のみ) 1

日本語入門 1

計 4

*Must take the Japanese Language Placement Test

Intensive Basic I	
Grammar	3 classes/weeks
Comprehensive	
<hr/>	
Total	3 classes/w
Intensive Basic II	
Grammar	3 classes/w
Comprehensive	
<hr/>	
Total	3 classes/w
Intensive Basic III	
Grammar	3 classes/w
Comprehensive	
<hr/>	
Total	3 classes/w

*Eligible to take the next level course when Grammar classes passed.

Note: Intensive Basic I and II and III classes are for the students who do not need to use Japanese for their studies and research.

↓

Intermediate I	
Grammar and Reading	1 class/w
Writing	1 class/w
Listening Comprehension 1	1 class/w
Conversation	1 class/w
Grammar	1 class/w
<hr/>	
Total	5 class/w

↓ *Eligible to take the next level course when three or more classes passed.

Intermediate II	
Grammar and Reading	1 class/w
Reading and Writing	1 class/w
Listening and Conversation	1 class/w
<hr/>	
Total	3 classes/w

↓ *Eligible to take the next level course when two or more classes passed.

Advanced	
Advanced Comprehensive Japanese 1	1 class/w
Advanced Comprehensive Japanese 2	1 class/w
<hr/>	
Total	2 classes/w

Electives	
[For Intensive Basic I、II]	
Character and Vocabulary 1	1 class/w
[For Intensive Basic III]	
Stepup to Intermediate Class	1 class/w
[For Intermediate I]	
Stepup to Intermediate Class	1 class/w
[For Intermediate II]	
Stepup to Intermediate Class	1 class/w
Stepup to Advanced Class	1 class/w
Japanese Culture and Society1	1 class/w
<hr/>	
Total	3 classes/w
[For Advanced]	
Stepup to Advanced Class	1 class/w
Japanese Culture and Society1	1 class/w
Japanese Culture and Society2	1 class/w
<hr/>	
Total	4 classes/w

3. 成績評価

- 1) 担当教員の成績評価の方法（レポート、授業参加への積極性等）により、総合的に判断して成績が付けられます。
- 2) 成績は11段階評価で、6点以上を合格とし、5点以下を不合格とします。
0～5点（D）、6点（C）、7点（B）、8点（A）、9～10点（AA）

3. Evaluation

- 1) Grades are given for each class based on the results of tests, reports, presentations, etc., assigned by the instructor.
- 2) Grades are given in eleven-points scale: 0~5 (D), 6 (C), 7(B), 8(A), 9~10 (AA).

2019年度国際交流センター開講科目一覧

コース名 Course	科目名 Subjects	曜日・コマ Days/ Periods	担当教員 Faculties
初級集中基礎Ⅰ Intensive BasicⅠ	総合 A/B Total A/B*	水 7～8 Wed 7-8	松岡 知津子 Matsuoka
	文法 A/B Grammar A/B	月 3～6 Mon 3-6	太田 慶子 Oota
初級集中基礎Ⅱ Intensive BasicⅡ	総合 A/B Total A/B*	水 5～6 Wed 5-6	松岡 知津子 Matsuoka
	文法 A/B Grammar A/B	木 5～8 Thu 5-8	伊藤 晴苗 Ito
初級集中基礎Ⅲ Intensive BasicⅢ	総合 A/B Total A/B	水 1～2 Wed 1-2	福岡 昌子 Fukuoka
	文法 A/B Grammar A/B	火 3～6 Tue 3-6	仲渡 理恵子 Nakato
中級Ⅰ IntermediateⅠ	文法・読解 A/B Grammar and Reading A/B	月 3～4 Mon 3-4	百瀬 みのり Momose
	作文 A/B Writing A/B	木 3～4 Thu 3-4	松岡 知津子 Matsuoka
	聴解 A/B Listening Comprehension A/B	月 7～8 Mon 7-8	太田 慶子 Oota
	会話 A/B Conversation A/B	金 1～2 Fri 1-2	大野 陽子 Oono
	文法(後期のみ) Grammar (Only Fall Semester)	水 7～8 Wed 7-8	伊藤 晴苗 Ito
中級Ⅱ IntermediateⅡ	文法・読解 A/B Grammar and Reading A/B	前期:月 5～6 後期:木 1～2	前期:福岡昌子 後期:松岡知津子
	読解・作文 A/B Reading and Writing A/B	前期:木 1～2 後期:月 5～6	前期:松岡 知津子 後期:福岡昌子
	聴解・会話 A/B Listening and Conversation A/B	水 5～6 Wed 5-6	福岡 昌子 Fukuoka
	文法(前期のみ) Grammar (Only Spring Semester)	月 9～10 Mon 9-10	太田 慶子 Oota
	読解(前期のみ) Reading(Only Spring Semester)	火 7～8 Tue 7-8	仲渡 理恵子 Nakato
	会話(後期のみ) Conversation(Only Fall Semester)	火 3～4 Tue 3-4	大野 陽子 Oono
上級 Advanced	上級総合日本語1A/B Advanced Total Japanese 1 A/B	木 7～8 Thu 7-8	前期:松岡知津子 後期:正路真一
	上級総合日本語2A/B Advanced Total Japanese 2 A/B	水 9～10 Wed 9-10	前期:福岡昌子 後期:松岡知津子
	上級総合日本語3A/B Advanced Total Japanese 3 A/B	月 7～8 Mon 7-8	福岡 昌子 Fukuoka
	文字・語彙 1 A/B Character and Vocabulary 1 A/B	火 1～2 Tue 1-2	大野 陽子 Oono
選択科目 Electives	文字・語彙 2 A/B Character and Vocabulary 2 A/B	月 1～2 Mon 1-2	百瀬 みのり Momose
	中級へのステップ・アップクラス A/B Step-up to Intermediate Class A/B	金 3～4 Fri 3-4	大野 陽子 Oono
	上級へのステップ・アップクラス A/B Step-up to Advanced Class A/B	木 9～10 Thu 9-10	伊藤 晴苗 Ito
	日本事情 1 A/B Japanese Culture and Society 1 A/B	火 9～10 Tue 9-10	正路 真一 Shoji
	日本事情 2B(後期のみ) Japanese Culture and Society 2B(Only Fall Semester)	木 5～6 Thu 5-6	栗田 聡子 Kurita
	日本語教育入門 A Introduction to Teaching Japanese as a Second Language	水 3～4 Wed 3-4	センター教員他 CIER Faculty
	日本語・日本文化研修コース Japanese Language and Culture Studies Course	日本語・日本文化演習 A/B Japanese & Culture Seminar A/B	金 5～6 Fri 5-6
国際キャリアアップ コース International Career Development Course	メディアと日本(英語) 前期のみ Media and Japan (English) Only Spring Semester	月 9～10 Mon 9-10	栗田 聡子 Kurita
	英語でエッセイ A/B English Short Composition A/B	木 1～2 Thu 1-2	マクダニエル McDaniel
	世界遺産と私たち A/B Our World Heritage A/B	金 1～2 Fri 1-2	マホニー Mahoney
	環境問題と地球 A/B Environmental Issues & Our Planet Earth A/B	金 3～4 Fri 3-4	マホニー Mahoney
	三重の社会と文化 A/B The Society and Culture of Mie (English) A/B	火 7～8 Tue 7-8	正路 真一 Shoji
日本文化紹介 A/B Introduce To Japanese Culture A/B	金 9～10 Fri 9-10	新田 貴士 Nitta	

2019年度国際交流センター授業時間割表（前期分）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1. 2限 8:50 ～ 10:20	(視聴覚) 選択 文字語彙 2A (百瀬)	(視聴覚室) 選択 文字・語彙 1A (大野)	(視聴覚室) 初級集中基礎Ⅲ 総合 A (福岡)	(演習室 3・4) 国際キャリアアップ 英語でエッセイ A (マクダニエル)	(演習室 3・4) 中級 I 会話 A (大野)
				(視聴覚室) 中級 II 作文 A (松岡)	(視聴覚室) 国際キャリアアップ 世界遺産と私たち A (マホニー)
3. 4限 10:30 ～ 12:00	(視聴覚) 中級 I 文法・読解 A (百瀬)	(演習室 3・4) 初級集中基礎Ⅲ 文法 A (仲渡)	(教養教育 2 号館 282 教室) 日本語教育入門 (センター教員)	(視聴覚室) 中級 I 作文 A (松岡)	(演習室 3・4) 選択 中級へのステップ アップ クラス A (大野)
	(演習室 3・4) 初級集中基礎 I 文法 A (太田)				(視聴覚室) 国際キャリアアップ 環境問題と地球 A (マホニー)
5. 6限 13:00 ～ 14:30	(視聴覚室) 中級 II 文法・読解 A (福岡)	(演習室 3・4) 初級集中基礎Ⅲ 文法 A (仲渡)	(視聴覚室) 中級 II 聴解・会話 A (福岡)	(演習室 3・4) 初級集中基礎 II 文法 A (伊藤)	日本語・日本文化演習 A (福岡、栗田、松岡、 正路)
	(演習室 3・4) 初級集中基礎 I 文法 A (太田)		(演習室 3・4) 初級集中基礎 II 総合 A (松岡)		
7. 8限 14:40 ～ 16:10	(視聴覚室) 上級 総合日本語 3A (福岡)	(視聴覚室) 国際キャリアアップ 三重の社会と文化 A (英語) 正路	(演習室 3・4) 初級集中基礎 I 総合 A (松岡)	(視聴覚室) 上級 総合日本語 1A(松岡)	
	(演習室 3・4) 中級 I 聴解 A (太田)	(演習室 3・4) 中級 II 読解 (仲渡)		(演習室 3・4) 初級集中基礎 II 文法 A (伊藤)	
9. 10限 16:20 ～ 17:50	(MEIPL PBL1) 国際キャリアアップ メディアと日本 (栗田)	(視聴覚室) 選択 日本事情 1A 三重の社会と文化 (正路)	(視聴覚室) 上級 総合日本語 2A (留学生と学ぶ日本) (福岡)	(視聴覚室) 選択 上級へのステップ アップ クラス A (伊藤)	(柔道場 他) 国際キャリアアップ 日本文化紹介 A (新田)
	(演習室 3・4) 中級 II 文法 (太田)				

初級集中基礎
 中級
 上級
 選択
 日文化修コース
 国際キャリアアップコース

2019年度国際交流センター授業時間割表（後期分）

◆ 海外英語研修 【単位認定なし】

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1. 2限 8:50 ～ 10:20	(視聴覚室) 選択 文字語彙 2B (百瀬)	(視聴覚室) 選択 文字・語彙 1B (大野)	(視聴覚室) 初級集中基礎Ⅲ 総合 B (福岡)	(演習室 3・4) 国際キャリアアップ 英語でエッセイ B (マクダニエル)	(演習室 3・4) 中級 I 会話 B (大野)
				(視聴覚室) 中級 II 文法・読解 B (松岡)	(視聴覚室) 国際キャリアアップ 世界遺産と私たち B (マホニー)
3. 4限 10:30 ～ 12:00	(視聴覚室) 中級 I 文法・読解 B (百瀬)	(演習室 3・4) 初級集中基礎Ⅲ 文法 B (仲渡)		(視聴覚室) 中級 I 作文 B (松岡)	(演習室 3・4) 選択 中級へのステップ アップクラス B (大野)
	(演習室 3・4) 初級集中基礎 I 文法 B (太田)	(視聴覚室) 中級 II 会話 B (大野)			(視聴覚室) 国際キャリアアップ 環境問題と地球 B (マホニー)
5. 6限 13:00 ～ 14:30	(視聴覚室) 中級 II 読解・作文 B (福岡)	(演習室 3・4) 初級集中基礎Ⅲ 文法 B (仲渡)	(視聴覚室) 中級 II 聴解・会話 B (福岡)	(演習室 3・4) 初級集中基礎 II 文法 B (伊藤)	日本語日本文化演習 B (福岡、栗田、松岡、 正路)
	(演習室 3・4) 初級集中基礎 I 文法 B (太田)		(演習室 3・4) 初級集中基礎 II 総合 B (松岡)	(MEIPL PBL1) 選択 日本事情 2B 栗田 (日本語)	
7. 8限 14:40 ～ 16:10	(視聴覚室) 上級 総合日本語 3B (福岡)	(視聴覚室) 国際キャリアアップ 三重の社会と文化 B (英語) 正路	(演習室 3・4) 初級集中基礎 I 総合 B (松岡)	(視聴覚室) 上級 総合日本語 1B (正路)	
	(演習室 3・4) 中級 I 聴解 B (太田)		(視聴覚室) 中級 I 文法 B (伊藤)	(演習室 3・4) 初級集中基礎 II 文法 B (伊藤)	
9. 10限 16:20 ～ 17:50		(視聴覚室) 選択 日本事情 1B 三重の社会と文化 (正路)	(視聴覚室) 上級 総合日本語 2B (留学生と学ぶ日本) (松岡)	(視聴覚室) 選択 上級へのステップ アップクラス B (伊藤)	(柔道場 他) 国際キャリアアップ 日本文化紹介 B (新田)

English Training Overseas (no credits)

- ① 海外英語研修 A (ブリティッシュ・コロンビア大学) 9月9日～9月27日実施予定 ※栗田
English Training Overseas A (The University of British Columbia, CN), held from 9/9 to 9/27 ※Kurita
② 海外英語研修 B ベトナムフィールドスタディ (ホーチミン市師範大学) 2月～3月頃
English Training Overseas B, held in sometime between February and March

初級集中基礎
 中級
 上級
 選択
 日文研修コース
 国際キャリアアップコース

2. 履修するときの注意

※センターのコースの概要について

- ① センターのコースは、前期(4月～9月)と後期(10月～3月)の2学期制です。
- ② コースは、16週で1学期が終わります。

※教養教育の「日本語・日本事情」の授業について

教養教育の「日本語・日本事情」の単位を取りたい学部正規留学生は、中級Ⅰ、中級Ⅱまたは上級レベルの◎のついている科目を見てください。なお、日本語の科目の外国語科目への単位認定は、各学部が行うので、必ず履修をする前に、学部の学務担当へ問い合わせてください。(p.23参照)

1. 自分のクラスについて

①国際交流センターの日本語の授業を受ける留学生は、必ず日本語レベル判定試験を受けてください。そのテストの結果によってレベル分けを行います。発表された自分のレベルを確認して、授業を受けてください。

J E E S 日本語能力試験(J L P T)N1合格のコピーを期限内に提出した者は日本語レベル判定試験とオリエンテーションを受ける必要はありません。(なお、N1合格のコピーは毎学期提出する必要があります。)

学生は、自分のレベルを含めて1つ下のレベルのクラスには、出席できます。

しかし、自分のレベルよりも上のレベルのクラスには出席できません。

2. 合格と不合格の基準について

①出席が3分の2以上、最終評価が60%以上であれば、合格できます。6回欠席すると、最終試験を受けることができません。

②成績評価は、基本的に次の評価基準により総合的に判断し、11段階の評価をします。

- a. 中間試験・期末試験・レポートの得点
- b. 平常点(出席・口頭発表・受講態度)
- c. 宿題・レポート等提出物の評価

評価は以下のとおりで、6点以上を合格とし、5点以下を不合格とします。

0～5点(D)、6点(C)、7点(B)、8点(A)、9～10点(AA)

③この基準については、担当教員が授業の最初のオリエンテーションで、履修する学生に詳しく説明します。

3. 日本語レベル判定試験について

国際交流センターで日本語のクラスをとりたい人は毎学期、日本語レベル判定試験を受ければなりません。

※前の学期で進級できた人は、試験を受けなくても一つ上のレベルのコースに進むことができます。

※J E E S 日本語能力試験(J L P T)のN1に合格し、その「合格結果通知書」または「日本語能力認定書」のコピーを、『日本語レベル判定試験』本試験の前日までに国際交流チームに出した人は受けなくてよいです。(前学期で一度提出している人も毎回提出して下さい。)

4. 受講上の注意

- ① 原則として、日本語レベル判定試験を受けないと、その学期に日本語の授業を受けることができません。
- ② 新渡日の学生と前の学期にセンターの授業を受けていない学生及び前の学期で進級できなかった学生は、日本語レベル判定試験の結果に基づいてクラスを決めます。
- ③ 2つ下のレベルの授業は受けることができません。
(例: 上級の学生は中級 I を受けられない。中級 II の学生は初級基礎 II を受けられない。)
- ④ 上のレベルのクラスに行くためには、
・日本語レベル判定試験の結果と共に、前の学期で受講した必修科目の3分の2以上の合格が必要となります。(詳しくは2ページを見てください。)
- ⑤ 選択科目は、必修科目以外に自分のレベルに合わせて自由に授業を受けることができます。
- ⑥ 追試験については、病気、事故等やむを得ぬ理由により試験を受けられなかった場合で、追試験を出願しようとする学生は、試験終了後受付期間内に所定の様式(P130)に証明となるような書類を添えて、事務室に届け出て下さい。

5. 休講措置

① 特別警報・警報発表時等の場合

三重県北部(四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曽岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町)又は中部区域(津市、松阪市、多気町、明和町)のいずれかの市町に、特別警報(大雨・暴風・高潮・波浪・暴風雪・大雪の各特別警報)、暴風警報、暴風雪警報、伊勢湾に大津波警報、津波警報のいずれかが発令された場合の授業(定期試験を含む)は休講とし、発令された警報のいずれかが

午前6時までに解除されない場合…午前中の授業等を休講

午前10時までに解除されない場合…午後の授業等を休講

② その他、自然災害・交通機関のストライキなどの場合

全学一斉の授業休講措置がとられるのは上記の場合ですが、地震・津波・竜巻あるいは交通機関のストライキなどでもテレビ・ラジオの情報や周辺状況に注意して、各自の判断で適切な行動をとるようにしてください。

休講措置をとる場合又は授業を再開する場合は、モバイル情報システム等の案内により学生へ周知します。

2. Application Procedure

Outline of the Course at the Center for International Education and Research: CIER

1) There are two semesters;

Spring Semester (From April to September), Fall Semester (From October to March)

2) There are 16 weeks in each semester.

※Taking Courses for Earning Credit for the subjects offered at the College of Liberal Arts and Sciences.

Undergraduate Students who want to earn credits for the subjects offered at the College of Liberal Arts and Sciences, please refer to page 23 of this course guide. You may earn credits from the College of Liberal Arts and Sciences by taking courses with a mark ◎ on page 24. Please consult with an officer at student affairs in your Faculty for the recognition of Japanese language classes as Foreign Language Courses before you register the courses.

1. About the Classes

- 1) All International Students who want to take the Japanese Classes at CIER are required to take the Placement Test. Your level and the appropriate classes are suggested based on the results of the Test. Please attend the classes after confirming your level.
- 2) Students who submit a photocopy of the certificate of JLPT Level1 do not have to take a Placement Test or attend an Orientation Session. (Please submit a photocopy of the certification of JEES (JLPT) Level 1 to the International Relations Office each semester.)
- 3) Students who take the Japanese Classes have to attend an Orientation Session. In the Orientation Session, the registration procedure and content of the Classes will be informed.
- 4) If you wish to take other classes than the recommended classes, you can take the lower level classes but not higher level classes.
- 5) Students of Intensive Japanese Language Study are only allowed to attend the Classes that are designated for this course.

2. Criteria for Passing and Failure of Courses

- 1) To pass the courses, the attendance should be two-thirds or more, and also the final evaluation should be 60% or higher. It is not allowed to take the final examination when you are absent from the classes 6 times or more out of 16 classes.

2) Your grade is scored in 11-grade scale based on the following evaluation policy.

- a. Results of mid-term exam, final exam and a final report
- b. Usual behavior (attendance/oral presentation/behavior in the class)
- c. Homework assignment and other assignment such as reports

The score 6 and higher will be considered as “Passed” and less than 5 will be considered as “Failed.”

0~5 (D), 6 (C), 7(B), 8(A), 9~10(AA)

3) The details will be informed by teachers of Japanese Language Education at the Orientation Session.

3. Japanese Course Placement Test

Students who wish to study at Japanese Language Courses are required to take a placement test each semester.

※If you passed a course in the preceding semester, you are allowed to take a classes in the next level in the current semester.

※Students who submit a photocopy of the certificate of JLPT 1 may not have to take a Placement Test and attend an Orientation Session. (Please submit a photocopy of the certification of JEES (JLPT) 1 to the International Relations Office each semester.) Students who take the Placement Test have to apply at the CIER within a certain period.

4. Note for Choosing Courses

- 1) Basically, students who wish to take Japanese classes should take the Japanese Language Placement Test each semester.
- 2) Incoming students, students who did not take any Japanese Language classes at the CIER in the preceding semester, and students who did not pass the level in the last semester are requested to take the Japanese Language Placement Test and appropriate level will be suggested.
- 3) Students are not allowed to take the classes which are two levels lower than the suggested level. (e.g. Students who are placed in Advance level are not eligible for Intermediate I level classes. Students who are placed in Intermediate II level are not eligible for Basic II classes.)
- 4) To take higher levels students should be placed in the appropriate level by the Japanese Language Placement Test, or should have passed the two-thirds of the required classes in the level. (Please refer to page 4 for details.)

- 5) Students can choose elective classes along with the required classes.
- 6) In case you failed to take the final exam due to special matters such as illness or accidents, a make-up test may be offered. Please submit the Make-up Test Application Form (page 130) along with a Reason Letter for the appropriate evidence, to the International Relations Office in a certain period.

5. Special Cancellation of Classes

- 1) When Emergency Warning or Warning has issued.

When Emergency Warning (for Heavy Rain, Storm, Storm Surge, High Waves, Snowstorm, and Heavy Storm), Storm Warning, or Snowstorm Warning is issued either in the area of North part of Mie Prefecture (Yokkaichi city, Kuwana city, Suzuka city, Kameyama city, Inabe city, Kisomisaki-cho, Toin-cho, Komono-cho, Asahi-cho, and Kawagoe-cho) and/or Central part of Mie Prefecture (Tsu city, Matsusaka city, Taki-cho, and Meiwa-cho) or when Major Tsunami Warning or Tsunami Warning is issued in Ise Bay,

and if it is not cancelled by 6:00 am, the classes held in the morning will be cancelled.

And if it is not cancelled by 10:00 am, the classes held in the afternoon will be cancelled.

The exam period follows the same.

- 2) In Case of Natural Disaster or Transportation Strike

In case of natural disaster or a transportation strike occur, all the classes will be cancelled. In addition, in case of the earthquakes, Tsunami, or tornadoes, please pay attention to the news of the radio, TV and your neighborhood, and students should take all measures possible to protect themselves in the event that an emergency situation occurs.

When Mie University decides to cancel classes or restart classes, we inform students through MMIS (Mobile Information System).

受講者別履修案内

Guidelines according to Student Categories

1. 日本語研修留学生
MEXT Intensive Japanese Language Course
2. 日韓共同理工系学部留学生
Japan-Korea Exchange Program in Science and Engineering
3. 国際交流センター（CIER）所属の短期留学生
Exchange Students Enrolled at CIER
4. 学部正規生
Regular Undergraduate Students
5. 日本語・日本文化研修留学生
Japanese Studies Students

にほんごけんしゅうりゅうがくせいぜんき
1. 日本語研修留学生(前期)

MEXT Intensive Japanese Language Course (Spring Semester)

日本語レベル判定試験の結果に従って、コース・コーディネーターと相談しながら、履修するレベルや科目を決めてください。コースの最後には、修了式があって、全員がスピーチをします。

Please consult with course coordinators to choose courses to take and register accordingly. At the closing ceremony, students will make speeches at the Closing Ceremony.

コース開講式	Opening Ceremony:	4月10日(火)	April 10 (Tue)
コース修了式	Closing Ceremony:	9月14日(金)	September 14 (Fri)

必修科目 Required Classes:

初級集中基礎 I A	総合 Comprehensive	松岡 Matsuoka	水 7～8 Wed. 7-8
Intensive Basic IA	文法 Grammar	太田 Oota	月 3～6 Mon. 3-6
初級集中基礎 II A	総合 Comprehensive	松岡 Matsuoka	水 5・6 Wed. 5-6
Intensive Basic IIA	文法 Grammar	伊藤 Ito	木 5～8 Thu. 5-8
初級集中基礎 III A	総合 Comprehensive	福岡 Fukuoka	水 1・2 Wed. 1-2
Intensive Basic IIIA	文法 Grammar	仲渡 Nakato	火 3～6 Tue. 3-6

選択科目 Elective Classes:

文字・語彙 1 A	Character and Vocabulary 1A	大野 Oono	火 1・2 Tue. 1-2
★三重の社会と文化 A (英語で授業)	The Society and Culture of Mie A (Class is held in English)	正路 Shoji	火 9・10 Tue 9-10

★の科目は、国際交流センター所属の留学生に限り必修です。

ただし、指導教員との話し合いの上、受講が考慮されることもあります。

★Mark subject is a required class for the Students enrolled in the CIER.

Please note that instructor may suggest students whether one should take or not.

※なお、選択科目については、各コースの学生対象が決められています。各コースのところをもう一度見てください。

※コースの開講式や修了式に参加できないときは、その理由を明記して国際交流チームに提出してください。

* Please refer to the page of each course for elective classes.

* When you are not able to attend the Opening Ceremony and/or Closing Ceremony, please submit a reason letter to the International Relations Office.

にほんごけんしゅうりゅうがくせいこうき
日本語研修留学生(後期)

MEXT Intensive Japanese Language Course (Fall Semester)

日本語レベル判定試験の結果に従って、コース・コーディネーターと相談しながら、履修するレベルや科目を決めてください。コースの最後には、修了式があって、全員がスピーチをします。

Please consult with course coordinators to register accordingly. At the closing ceremony, students will make speeches.

コース開講式 Opening Ceremony: 未定 (TBS)
コース修了式 Closing Ceremony: 2019年8月下旬(予定) Late Aug. 2019(TBS)

必修科目 Required Classes:

初級集中基礎 I B Intensive Basic IB	総合 Comprehensive 文法 Grammar	松岡 Matsuoka 太田 Oota	水7~8 Wed.7-8 月3~6 Mon.3-6
初級集中基礎 II B Intensive Basic IIB	総合 Comprehensive 文法 Grammar	松岡 Matsuoka 伊藤 Ito	水5・6 Wed. 5-6 木5~8 Thu.5-8
初級集中基礎 III B Intensive Basic IIIB	総合 Comprehensive 文法 Grammar	福岡 Fukuoka 仲渡 Nakato	水1・2 Wed. 1-2 火3~6 Tue. 3-6

選択科目 Elective Classes:

文字・語彙 1 B Character and Vocabulary 1B 大野 月1・2 ono Mon 1-2
★三重の社会と文化 B (英語で授業) The Society and Culture of Mie B(Class is held in English)
正路 火9・10 Shoji Tue 9-10

★の科目は、国際交流センター所属の留学生に限り必修です。

ただし、指導教員との話し合いの上、受講が考慮されることもあります。

★Mark subject is a required class for the Students enrolled in the CIER.

Please note that instructor may suggest students whether one should take or not.

※なお、選択科目については、各コースの学生対象が決められています。各コースのところをもう一度見てください。

※コースの開講式や修了式に参加できないときは、その理由を明記して国際交流チームに提出してください。

* Please refer to the page of each course for elective classes.

* When you are not able to attend the Opening Ceremony and/or Closing Ceremony, please submit a reason letter to the International Relations Office.

2. 日韓共同理工系学部留学生(前期)

Japan-Korea Exchange Program in Science and Engineering (Spring Semester)

日本語レベル判定試験の結果に従って、以下の日本語に関する科目を履修してください。その他の専門基礎科目(数学、物理、化学)については、追って連絡します。また、日韓理工系学部留学生も修了式に出てスピーチをします。

<中級Ⅱレベルの人 For Intermediate Ⅱ>

必修科目 Required Classes:

ぶんぽう どっかい 文法・読解A ◎	Grammar and Reading A	ふくおか げつ 福岡 月	5・6
どっかい きくぶん 読解・作文A ◎	Reading and Writing A	まつおか もく 松岡 木	1・2
ちようかい かいわ 聴解・会話A	Listening and Conversation A	ふくおか すい 福岡 水	5・6

選択科目 Elective Classes:

ちゆうきゆう 中級へのステップアップクラスA	Step-up to Intermediate Class A	おおの きん 大野 金	3・4
じようきゆう 上級へのステップアップクラスA	Step-up to Advanced Class A	いとう もく 伊藤 木	9・10
にほんじじょう みえ しゃかい ぶんか にほんご じゆぎょう 日本事情ⅠA三重の社会と文化(日本語で授業) ◎Japanese Culture and Society 1A	正路	しょうじ か 火	9・10

The Society and Culture of Mie A (Class is held in Japanese)

<上級レベルの人 For Advanced>

必修科目 Required Classes:

じようきゆうそうごうにほんご 上級総合日本語1A ◎	Advanced Comprehensive Japanese 1A	まつおか もく 松岡 木	7・8
じようきゆうそうごうにほんご 上級総合日本語2A ◎	Advanced Comprehensive Japanese 2A	ふくおか すい 福岡 水	9・10
じようきゆうそうごうにほんご 上級総合日本語3A	Advanced Comprehensive Japanese 3A	ふくおか げつ 福岡 月	9・10

選択科目 Elective Classes:

じようきゆう 上級へのステップアップクラスA	Step-up to Advanced Class A	いとう もく 伊藤 木	9・10
にほんじじょう みえ しゃかい ぶんか にほんご じゆぎょう 日本事情ⅠA三重の社会と文化(日本語で授業) ◎Japanese Culture and Society 1A	正路	しょうじ か 火	9・10

The Society and Culture of Mie A (Class is held in Japanese)

日韓共同理工系学部留学生(後期)

Japan-Korea Exchange Program in Science and Engineering (Fall Semester)

日本語レベル判定試験の結果に従って、以下の日本語に関する科目を履修してください。その他の専門基礎科目(数学、物理、化学)については、追って連絡します。また、日韓理工系学部留学生も修了式に出てスピーチをします。

<中級Ⅱレベルの人 For Intermediate Ⅱ>

必修科目 Required Classes:

文法・読解 B ◎	Grammar and Reading B	松岡 木	1・2
読解・作文 B ◎	Reading and Writing B	福岡 月	5・6
聴解・会話 B	Listening and Conversation B	福岡 水	5・6

選択科目 Elective Classes:

中級へのステップアップクラス B	Step-up to Intermediate Class B	大野 金	3・4
上級へのステップアップクラス B	Step-up to Advanced Class B	伊藤 木	9・10
日本事情ⅠB三重の社会と文化(日本語で授業) ◎ Japanese Culture and Society 1B	止路 火	9・10	0

The Society and Culture of Mie A (Class is held in Japanese)

<上級レベルの人 For Advanced >

必修科目 Required Classes:

上級総合日本語 1 B ◎	Advanced Comprehensive Japanese 1B	止路 木	7・8
上級総合日本語 2 B ◎	Advanced Comprehensive Japanese 2B	松岡 水	9・10
上級総合日本語 3 B	Advanced Comprehensive Japanese 3B	福岡 月	7・8

選択科目 Elective Classes:

上級へのステップアップクラス A	Step-up to Advanced Class B	伊藤 木	9・10
★日本事情 1B◎三重の社会と文化(日本語で授業) Japanese Culture and Society 1B	止路 火	9・10	0

The Society and Culture of Mie A (Class is held in Japanese)

日本事情2◎ (メディアと日本) Japanese Culture and Society B (Media and Japan)	栗田 木	5・6
---	------	-----

3. 国際交流センター (CIER) 所属の短期留学生 (前期)

Exchange Students Enrolled at CIER (Spring Semester)

日本語レベル判定試験の結果に従って、指導教員と相談しながら、履修するレベルや科目を決めてください。

*各コースの学生対象に、必修科目や選択科目が決められています。各コースのところをもう一度見てください。

Please consult with course coordinators to choose courses to take and register accordingly

*Required Classes are suggested in each level. Please refer to the each level page.

<初級基礎レベルの人 >

必修科目 Required Classes:

初級集中基礎 I Intensive Basic I

総合 A Total A 松岡(Matsuoka) 水 7・8 Wed. 7-8

文法 A Grammar A 太田(Oota) 月 3・6 Mon3-6

初級集中基礎 II Intensive Basic II

総合 A Total A 松岡(Matsuoka) 水 5・6 Wed. 5-6

文法 A Grammar A 伊藤(Ito) 木 5~8 Tue. 5-8

初級集中基礎 III Intensive Basic III

総合 A Total A 福岡(Fukuoka) 水 1・2 Tue. 1-2

文法 A Grammar A 仲渡(Nakato) 火 3・6 Tue. 3-6

選択科目 Elective Classes:

初級集中基礎 I・II の学生対象 (For Basic I & II):

文字・語彙 1 A Character and Vocabulary 1 A 大野 (Oono) 火 1・2 Tue. 1-2

★三重の社会と文化 A (英語で授業) The Society and Culture of Mie A 正路 火 9・10

(Class is held in English) (Shoji) Tue. 9-10

初級集中基礎 III の学生対象 (For Basic III):

中級へのステップ・アップクラス A Step-up to Intermediate Class A 大野(Oono) 金 3・4 Fri. 3-4

★三重の社会と文化 A (英語で授業) The Society and Culture of Mie A 正路 火 9・10

(Class is held in English) (Shoji) Tue. 9-10

ちゅうきゅう
<中級 I レベルの人 Intermediate I >

必修科目 Required Classes:

ぶんぽう どっかい 文法・読解 A ◎	Grammar and Reading A	ももせ げつ 百瀬 月 3・4
さくぶん 作文 A ◎	Writing A	まつおか もく 松岡 木 3・4
ちようかい 聴解 A	Listening Comprehension A	おた げつ 太田 月 7・8
かいわ 会話 A	Conversation A	おの きん 大野 金 1・2

せんたく かもく
選択科目 Elective Classes:

ちゅうきゅう 中級へのステップアップクラス A	Step-up to Intermediate Class A	おの きん 大野 金 3・4
★ みえ しやかい ぶんか (英語で授業) 三重の社会と文化 A	The Society and Culture of Mie A	しょうじ か 正路 火 9・10 (Class is held in English)

ちゅうきゅう
<中級 II レベルの人 Intermediate II >

必修科目 Required Classes:

ぶんぽう どっかい 文法・読解 A ◎	Grammar and Reading A	ふくおか げつ 福岡 月 5・6
どっかい さくぶん 読解・作文 A ◎	Reading and Writing A	まつおか もく 松岡 木 1・2
ちようかい かいわ 聴解・会話 A	Listening and Conversation A	ふくおか すい 福岡 水 5・6

せんたく かもく
選択科目 Elective Classes:

ちゅうきゅう 中級へのステップアップクラス A	Step-up to Intermediate Class A	おの きん 大野 金 3・4
じようきゅう 上級へのステップアップクラス A	Step-up to Advanced Class A	いとう もく 伊藤 木 9・10
にほんじじょう みえ しやかい ぶんか (日本語で授業) 日本事情 I A 三重の社会と文化 (日本語で授業)	◎ Japanese Culture and Society 1A	しょうじ か 正路 火 9・10 The Society and Culture of Mie A (Class is held in Japanese)

じようきゅう
<上級 レベルの人 Advanced >

必修科目 Required Classes:

じようきゅう ぜんごう にほんご 上級総合日本語 1 A ◎	Advanced Comprehensive Japanese 1A	まつおか もく 松岡 木 7・8
じようきゅう ぜんごう にほんご 上級総合日本語 2 A ◎	Advanced Comprehensive Japanese 2A	ふくおか すい 福岡 水 9・10
じようきゅう ぜんごう にほんご 上級総合日本語 3 A	Advanced Comprehensive Japanese 3A	ふくおか げつ 福岡 月 7・8

せんたく かもく
選択科目 Elective Classes:

じようきゅう 上級へのステップアップクラス A	Step-up to Advanced Class A	いとう もく 伊藤 木 9・10
にほんじじょう みえ しやかい ぶんか (日本語で授業) 日本事情 I A 三重の社会と文化 (日本語で授業)	◎ Japanese Culture and Society 1A	しょうじ か 正路 火 9・10 The Society and Culture of Mie A (Class is held in Japanese)

★の科目は、国際交流センター所属の留学生に限り必修です。

ただし、指導教員との話し合いの上、受講が考慮されることもあります。

★Mark subject is a required class for the Students enrolled in the CIER.

Please note that instructor may suggest students whether one should take or not.

こくさいこうりゅう しょぞく たん きりゅうがくせい こうき
国際交流センター (CIER所属) の短期留学生 (後期)

Exchange Students Enrolled at CIER (Fall)

にほんご レベル 判定試験の結果に従って、指導教員と相談しながら、履修するレベルや科目を決めてください。

*各コースの学生対象に、必修科目や選択科目が決められています。各コースのところをもう一度見てください。

Please consult with course coordinators to choose courses to take and register accordingly

*Required Classes are suggested in each level. Please refer to the each level page.

＜初級基礎レベルの人＞

必修科目 Required Classes:

初級集中基礎 I Intensive Basic I

総合B Total B 松岡(Matsuoka) 水 7・8 Wed.7-8

文法B Grammar B 太田(Oota) 月 3・6 Mon.3-6

初級集中基礎 II Intensive Basic II

総合B Total B 松岡(Matsuoka) 水 5・6 Wed.5-6

文法B Grammar B 伊藤(Ito) 木 5～8 Thu. 5-8

初級集中基礎 III Intensive Basic III

総合B Total B 福岡(Fukuoka) 水 1・2 Tue. 1-2

文法B Grammar B 仲渡(Nakato) 火 3・6 Tue. 3-6

選択科目 Elective Classes:

初級集中基礎 I・IIの学生対象 (For Basic I & II):

文字・語彙 1 B Character and Vocabulary 1 B 大野 (Oono) 火 1・2 Tue. 1-2

★三重の社会と文化B (英語で授業) The Society and Culture of Mie B 正路 火 9・10
 (Class is held in English) (Shoji) Tue. 9-10

初級集中基礎 IIIの学生対象 (For Basic III):

中級へのステップ・アップクラス B Step-up to Intermediate Class B 大野(Oono) 金 3・4 Fri. 3-4

★三重の社会と文化B (英語で授業) The Society and Culture of Mie B 正路 火 9・10
 (Class is held in English) (Shoji) Tue. 9-10

＜中級 I レベルの人 Intermediate I＞

必修科目 Required Classes:

文法・読解 B ◎

作文 B ◎

聴解 B

会話 B

Grammar and Reading B

百瀬 月 3・4

Writing B

松岡 木 3・4

Listening Comprehension B

太田 月 7・8

Conversation A

大野 金 1・2

選択科目 Elective Classes:

中級へのステップアップクラス B

Step-up to Intermediate Class B

大野 金 3・4

★三重の社会と文化 B (英語で授業)

The Society and Culture of Mie B

正路 火 9・10

(Class is held in English)

＜中級 II レベルの人 For Intermediate II＞

必修科目 Required Classes:

文法・読解 B ◎

読解・作文 B ◎

聴解・会話 B

Grammar and Reading B

松岡 木 1・2

Reading and Writing B

福岡 月 5・6

Listening and Conversation B

福岡 水 5・6

選択科目 Elective Classes:

中級へのステップアップクラス B

Step-up to Intermediate Class B

大野 金 3・4

上級へのステップアップクラス B

Step-up to Advanced Class B

伊藤 木 9・10

日本事情 I B 三重の社会と文化 (日本語で授業)

◎Japanese Culture and Society 1B

正路 火 9・10

The Society and Culture of Mie A (Class is held in Japanese)

＜上級 レベルの人 For Advanced＞

必修科目 Required Classes:

上級総合日本語 1 B ◎

Advanced Comprehensive Japanese 1B

正路 木 7・8

上級総合日本語 2 B ◎

Advanced Comprehensive Japanese 2B

松岡 水 9・10

上級総合日本語 3 B

Advanced Comprehensive Japanese 3B

福岡 月 7・8

選択科目 Elective Classes:

上級へのステップアップクラス A Step-up to Advanced Class B

伊藤 木 9・10

★日本事情 IB 三重の社会と文化 (日本語で授業)

◎Japanese Culture and Society IB

正路 火 9・10

The Society and Culture of Mie A (Class is held in Japanese)

日本事情 II (メディアと日本) ◎ Japanese Culture and Society B (Media and Japan)

栗田 木 5・6

★科目は、国際交流センター所属の留学生に限り必修です。

ただし、指導教員との話し合いの上、受講が考慮されることもあります。

★Mark subject is a required class for the Students enrolled in the CIER.

Please note that instructor may suggest students whether one should take or not.

4. 学部正規生(前期・後期)

Regular Students (Spring & Fall Semester)

教養教育の単位として認定される科目は、次の18科目(◎)です。日本語レベル判定試験や進級の結果に従って、科目を選択してください。(Aは前期開講科目、Bは後期開講科目)

<日本語>

文法・読解A・B	中級 I レベル◎	百瀬	月3・4	1単位
読解・作文A・B	中級 I レベル◎	松岡	木3・4	1単位
文法・読解A・B	中級 II レベル◎	前期:福岡	後期:松岡	1単位
読解・作文A・B	中級 II レベル◎	前期:松岡	後期:福岡	1単位
聴解・会話A・B	中級 II レベル◎	福岡	水5・6	1単位
上級総合日本語1A・B	上級レベル◎	正路	木7・8	1単位
上級総合日本語2A・B	上級レベル◎	前期:福岡	後期:松岡	1単位

<日本事情>

日本事情1A・B	中級 II レベル◎	正路	火9・10	2単位
日本事情2(メディアと日本)	上級レベル◎	栗田	(後期のみ) 木5・6	2単位

●「日本語」は、1科目につき、1単位が認定されます。この「日本語」の単位は、教養教育授業科目の教養基盤科目または教養統合科目の単位に代えることができます。

何単位を認めるかは、学部によってちがいます。必ず、自分の学部の指導や、説明に従ってください。

ただし、「文法・読解A・B(中級 I レベル)」および「読解・作文A・B(中級 I レベル)」については、受講者数制限により受講できない可能性が高いので注意してください。

●「日本事情」は、1科目につき、2単位が認定されます。この「日本事情」は、教養教育授業科目の教養基盤科目または教養統合科目の単位に代えることができます。詳しいことは自分の学部の指導や、説明に従ってください。

よくわからないときは、自分の学部の事務室や、担当の先生に確認してください。

※注意

各科目のAとBは、それぞれ別の単位になります(例:「文法・読解A」と「文法・読解B」は、それぞれ1単位。合計2単位)。

ただし、同じ科目を2度履修しても、単位は1科目分しか認定されません。(例:「文法・読解A」を2度履修→1単位)。

にほんご にほんぶんかけんしゅうりゅうがくせい ねんどせい
5.日本語・日本文化研修留学生（2019年度生）

Japanese Studies Students (Fall 2019 - Spring 2020)

日本語レベル判定試験の結果に従って、日本語のクラスを履修してください。また、次のページの「研究論文および実践活動報告に関する予定表」に従って、指導教員と相談しながら、自分の研究または実践活動を進めてください。

Register the Japanese language courses based on your placement test result. Japanese Studies Students are required to consult with their academic advisors and conduct research or participate in regional/cultural activities, following the schedule shown in the next page.

ちゅうきゅう
 <中級 I レベルの人 For Intermediate I >

必修科目 Required Classes:

ぶんぽう どっかい 文法・読解B	Grammar and Reading B	ももせ げつ 百瀬 月 3・4
さくぶん 作文B	Writing B	まつおか もく 松岡 木 3・4
ちようかい 聴解B	Listening Comprehension B	おおた げつ 太田 月 7・8
かいわ 会話B	Conversation A	おおの きん 大野 金 1・2
ぶんぽう 文法B	Grammar B	いとう すい 伊藤 水 7・8

せんたくかまく
 選択科目 Elective Classes:

もじ ごい 文字・語彙 2B	Character and Vocabulary 2B	ももせ げつ 百瀬 月 1・2
ちゅうきゅう 中級へのステップアップクラス B	Step-up to Intermediate Class B	おおの きん 大野 金 3・4

ちゅうきゅう
 <中級 II レベルの人 For Intermediate II >

必修科目 Required Classes:

ぶんぽう どっかい 文法・読解B	Grammar and Reading B	まつおか もく 松岡 木 1・2
どっかい さくぶん 読解・作文B	Reading and Writing B	ふくおか げつ 福岡 月 5・6
ちようかい かいわ 聴解・会話B	Listening and Conversation B	ふくおか すい 福岡 水 5・6
かいわ 会話B	Conversation B	おおの か 大野 火 3・4
にほんじじょう みえ しゃかい ぶんか 日本事情 1B 三重の社会と文化 Japanese Culture and Society 1B: The Society and Culture of Mie		しょうじ か 正路 火 9・10

せんたくかまく
 選択科目 Elective Classes:

ちゅうきゅう 中級へのステップアップクラス B	Step-up to Intermediate Class B	おおの きん 大野 金 3・4
じょうきゅう 上級へのステップアップクラス B	Step-up to Advanced Class B	いとう もく 伊藤 木 9・10

じょうきゅう
 <上級レベルの人 For Advanced >

必修科目 Required Classes:

じょうきゅう 上級総合日本語 1B	Advanced Comprehensive Japanese 1B	しょうじ 木 正路 7・8
じょうきゅう 上級総合日本語 2B	Advanced Comprehensive Japanese 2B	まつおか すい 松岡 水 9・10

じょうきゅうそうごうにほんご 上級総合日本語 3B	Advanced Comprehensive Japanese 3B	ふくおか げつ 福岡 月 7・8
にほんじじょう み え しやかい ぶんか 日本事情 1B 三重の社会と文化	Japanese Culture and Society 1B: The Society and Culture of Mie	しょうじ か 正路 火 9・10
せんたくかもく 選択科目 Elective Classes:		
じょうきゅう 上級へのステップアップクラス B	Step-up to Advanced Class B	いとう もく 伊藤 木 9・10
にほんじじょう 日本事情 2B メディアと日本	Japanese Culture and Society 2B: Media and Japan	くりた もく 栗田 木 5・6

けんきゅうろんぶん じっせんかつどうほうこく かん よていひよう
研究論文・実践活動報告に関する予定表 (2019年度生)

Schedule about the Research Paper and Activity Report (Students for Fall 2019 - Spring 2020) (Subject to change)

2020年1月下旬	けんきゅう じっせんかつどうないよう ていしゅつしめきり 研究・実践活動内容 提出締切
2020年2月中旬	けんきゅう じっせんかつどうせいしか ちゅうかんはっぴょうかい 研究・実践活動成果 中間発表会
2020年7月中旬	けんきゅう じっせんかつどうせいしか はっぴょうかい 研究・実践活動成果 発表会
2020年8月上旬	けんきゅうろんぶん じっせんかつどうほうこく ていしゅつしめきり 研究論文・実践活動報告 提出締切
2020年8月上旬	にほんご にほんぶんかけんしゅうりゅうがくせい しゅうりようしき 日本語・日本文化研修留学生コース 修了式

Early January, 2020	Submission deadline of the title of the research
Middle February, 2020	Mid-term presentation on the Research/Activity
Middle July, 2020	Presentation of the Research/Activity
Early August, 2020	Submission deadline of the Research Paper/Activity Report
Early August, 2020	Closing Ceremony for the Japanese Language and Culture Studies

I.日本語教育コース：授業案内

Japanese Language Education Course : Syllabi

前期 : Spring Semester

しよきゆうしゆうちゆう き そ き そ き そ ぜんき
初級集中基礎 I・基礎 II・基礎 III (前期)

Basic I & Basic II & Basic III (Spring Semester)

コース・コーディネータ：福岡 昌子

Course Coordinator: Fukuoka Masako

このコースを受けることができる人 **Qualifications:**

- ① 初級基礎 I は、はじめて日本語を勉強する人。
 - ② 初級基礎 II は、初級基礎 I のコースを修了した人、またはそれと同じくらいの日本語能力がある人。
 - ③ 初級基礎 III は、初級基礎 II のコースを修了した人、またはそれと同じくらいの日本語能力がある人。
- ① Basic I course is designed for students who study Japanese language for the first time.
 - ② Basic II course is designed for students who passed the Basic I course or equivalent.
 - ③ Basic III course is designed for students who passed the Basic I course or equivalent.

※中級 I 以上の人は初級基礎 II を、中級 II 以上の人は初級基礎 III を受けられません。

※ Students who are placed in Intermediate I or higher are not allowed to take Basic II course.
 Students who are placed in Intermediate II or higher are not allowed to take Basic III course.

コースの目標 **Objective:**

初級集中基礎 I：日常生活に最低限必要な、初歩的な日本語能力をつけます。

初級集中基礎 II：初級集中基礎 I が終わった後の基本的な日本語力をつけます。

初級集中基礎 III：初級集中基礎 II が終わった後の基本的な日本語力をつけます。

Basic I: To learn minimum and basic Japanese for everyday life.

Basic II: To learn basic Japanese following Basic I.

Basic III: To learn basic Japanese following Basic II.

必修科目 **Required Classes:**

初級集中基礎 I Intensive Basic I

総合 A	Total A	まつおか 松岡(Matsuoka)	みず 水	7 ~ 8 Wed. 7-8
ぶんぽう 文法 A	Grammar A	おおた 太田(Oota)	つき 月	3 ~ 6 Mon. 3-6

初級集中基礎 II Intensive Basic II

総合 A	Total A	まつおか 松岡(Matsuoka)	みず 水	5 ~ 6 Wed. 5-6
ぶんぽう 文法 A	Grammar A	いとう 伊藤(Ito)	もく 木	5 ~ 8 Tue. 5-8

初級集中基礎 III Intensive Basic III

総合 A	Total A	ふくおか 福岡(Fukuoka)	すい 水	1 ~ 2 Tue. 1-2
ぶんぽう 文法 A	Grammar A	なかと 仲渡(Nakato)	か 火	3 ~ 6 Tue. 3-6

せんたくか^{もく}
選択科目 **Elective Classes:**

しよきゅうしゅうちゅうきそ^そ
初級集中基礎 I・II の学生対象 (For Basic I & II):

もじごい ^い 文字・語彙 1 A	Character and Vocabulary 1 A	おおの ^の 大野 (Oono)	か ^か 火 1・2	Tue. 1-2
もじごい ^い 文字・語彙 2 A	Character and Vocabulary 2 A	ももせ ^せ 百瀬 (Momose)	げつ ^{げつ} 月 1・2	Mon.1-2

しよきゅうしゅうちゅうきそ^そ
初級集中基礎 III の学生対象 (For Basic III):

ちゅうきゅう^{ゅう}
中級へのステップ・アップクラス A

Step-up to Intermediate Class A	おおの ^の 大野 (Oono)	きん ^{きん} 金 3・4	Fri. 3-4
---------------------------------	-------------------------------	---------------------------	----------

ちゅうきゅう ぜんき
中級 I (前期)

Intermediate I (Spring Semester)

コース・コーディネータ：福岡 昌子
Course Coordinator : Masako Fukuoka

このコースを受けることができる人 Qualifications:

I. 以下の①と②の両方に当てはまる人が受けることができます。

Students who can take this course should meet the requirements as follows.

① 日本語レベル判定試験で中級 I になった人。

Students who are placed in Intermediate I by the result of the Placement Test.

② 前の学期に初級基礎 II から進級した人。

Students who passed Basic II in the last semester.

※上級レベルの人は受けることができません。

Students in the Advanced Class are not allowed to take this course.

コースの目標 Objective:

初級の基礎力の上に、中級で必要な読解力および聴解力、文章表現力等をつけます。
4技能(読む、書く、聞く、話す)の総合的なレベルの向上を図り、中級 II、上級へとつなぎます。

In this course, students are to study intermediate level of comprehension, listening and composition in addition to on basic level of Japanese. In addition, this course aims to enhance students four essential skills of reading, writing, listening and speaking, so that they will have enough ability for Intermediate II and advanced courses.

必修科目 Required Classes:

文法・読解 A	Grammar and Reading A	百瀬 (Momose)	月 3・4 Mon. 3-4
作文 A	Writing A	松岡 (Matsuoka)	木 3・4 Thu. 3-4
聴解 A	Listening Comprehension A	太田 (Oota)	月 7・8 Mon. 7-8
会話 A	Conversation A	大野 (Oono)	金 1・2 Fri. 1-2

選択科目 Elective Classes :

中級へのステップ・アップクラス A	Step-up to Intermediate Class A	大野 (Oono)	金 3・4 Fri. 3-4
-------------------	---------------------------------	-----------	----------------

ちゅうきゅう ぜんき
中級Ⅱ(前期)

Intermediate II (Spring Semester)

コース・コーディネータ：まつおか ちづこ
松岡 知津子

このコースを受けることができる人 **Qualifications:**

レベル判定試験で中級Ⅱに判定された人で、前の学期に中級Ⅰのコースの必修科目を5分の3以上合格した人。またはそれと同じくらいの日本語能力がある人。

コースの目標 **Objective:**

上級レベルに向けて、読解力、聴解力、会話力、文章表現能力をつけていきます。

必修科目 **Required Classes:**

ぶんぽう どっかい 文法・読解A	Grammar and Reading A	ふくおか げつ 福岡 月 5・6
ぶんぽう 文法A	Grammar A	おおた げつ 太田 月 9・10
どっかい 読解A	Reading A	なかと か 仲渡 火 7・8
ちようかい かいわ 聴解・会話A	Listening and Conversation A	ふくおか すい 福岡 水 5・6
どっかい さくぶん 読解・作文A	Reading and Writing A	まつおか もく 松岡 木 1・2

選択科目 **Elective Classes:**

じようきゅう 上級へのステップ・アップクラスA	Step-up to Advanced Class A	いとら もく 伊藤 木 9・10
にほんじじょう 日本事情1A(三重の社会と文化)	Japanese Culture and Society 1A (The Society and Culture of Mie)	しょうじ か 正路 火 9・10

上級（前期）

Advanced（Spring Semester）

コース・コーディネータ：松岡 知津子

このコースを受けることができる人 **Qualifications:**

中級Ⅱのコースを修了した人、レベル判定試験で上級と判定された人、または日本語能力試験（JLPT）1級の合格証を提出した人。

コースの目標 **Objective:**

専門分野で研究を行うために必要な、高度な日本語力をつけます。

必修科目 **Required Classes:**

上級総合日本語 1 A	Advanced Comprehensive Japanese 1A	松岡	木 7・8
上級総合日本語 2 A	Advanced Comprehensive Japanese 2A	福岡	水 9・10

選択科目 **Elective Classes in Advanced:**

上級へのステップ・アップクラス A	Step-up to Advanced Class A	伊藤	木 9・10
日本事情 1A(三重の社会と文化)	Japanese Culture and Society 1A (The Society and Culture of Mie)	正路	火 9・10

日本語教育入門 A	Introduction to Teaching Japanese as a Second Language A	センター教員他	水 3・4
-----------	--	---------	-------

必修科目 : Required Classes

~Spring Semester~

レベル Level	授業科目 Subject	
初級集中基礎 I A Intensive Basic I A	初級集中基礎 1 A Intensive Basic 1 A	
	担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
総合A Total A	まつおか ちづこ Matsuoka Chizuko	ぜんき すいようび 7～8限 Spring, Wed.7-8 periods
文法A Grammar A	おおた けいこ Oota Keiko	ぜんき げつようび 3～6限 Spring, Mon.3-6periods
授業の目標 Objectives	1. 日本語の基礎を復習する。To review Japanese Basics 2. 基本的な日常会話ができるようになる。 To become able to have daily conversation.	
教科書など Textbook(s) etc.	『みんなの日本語 初級 I』（スリーエーネットワーク） オリジナル教材他、テキストは一部コピー配布。 Minna no Nihongo Basic I (Three A Network) Other than textbooks, original text will be used and some handouts will be given.	
成績評価の方法 Manner of Assessment	中間試験 (40%)、期末試験 (40%)、出席率 (10%)、授業参加 (宿題) (10%) Mid-term Exam (40%), Final Exam (40%), Attendance (10%), Class Participation (10%)	

【授業の内容 Contents】

- 日本語の基礎を復習して、「読む」「書く」「聞く」「話す」のレベルを上げる。
Review basic Japanese to improve “Reading”, “Writing”, “Listening” and “Speaking”.
- 場面に合わせて、基本的な日常会話ができるように練習する。
Practice dairy conversation in different situation.

【授業計画 Syllabus】

	Matsuoka	Ito
1	Review(L1~15), Vocabulary of L16	L16
2	Review(L16), Vocabulary of L17	L17
3	Review(L17), Vocabulary of L18	L18
4	Review(L18), Vocabulary of L19	L20 & 21
5	L19	L22
6	L19, Review(L20, 21), Vocabulary of L22	L23
7	Review(L22), Vocabulary of L23	L24
8	Review(L24), Vocabulary of L25	L25
9	Mid-term Examination	L26
10	Feedback of Mid-term Examination	L27
11	Review(L27), Vocabulary of L28	L28
12	Review(L28), Vocabulary of L29	L29
13	Review(L29), Vocabulary of L30	L30
14	Review(L30), Vocabulary of L31	L31
15	L33	L32
16	Final Examination	Review

レベル Level	授業科目 Subject	
初級集中基礎ⅡA Intensive Basic ⅡA	初級集中基礎ⅡA Intensive Basic ⅡA	
	担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
総合A Total A	松岡 知津子 Matsuoka Chizuko	前期 水曜日5・6限 Spring, Wed. 5-6 periods
文法A Grammar A	伊藤 晴苗 Ito Haruna	前期 木曜日5~8限 Spring, Thu.5-8 periods
授業の目標 Objectives	1. 日本語の基礎を復習する。To review Japanese Basics 2. 基本的な日常会話ができるようになる。 To become able to have daily conversation.	
教科書など Textbook(s) etc.	『みんなの日本語 初級Ⅰ』（スリーエーネットワーク） オリジナル教材他、テキストは一部コピー配布。 Minna no Nihongo Basic I (Three A Network) Other than textbooks, original text will be used and some handouts will be given.	
成績評価の方法 Manner of Assessment	中間試験（40%）、期末試験（40%）、出席率（10%）、授業参加（宿題）（10%） Mid-term Exam (40%), Final Exam (40%), Attendance (10%), Class Participation (10%)	

【授業の内容 Contents】

- 日本語の基礎を復習して、「読む」「書く」「聞く」「話す」のレベルを上げる。
Review basic Japanese to improve “Reading”, “Writing”, “Listening” and “Speaking”.
- 場面に合わせて、基本的な日常会話ができるように練習する。
Practice dairy conversation in different situation.

【授業計画 Syllabus】

	Matsuoka	Ito
1	Review(L1~15), Vocabulary of L16	L16
2	Review(L16), Vocabulary of L17	L17
3	Review(L17), Vocabulary of L18	L18
4	Review(L18), Vocabulary of L19	L20 & 21
5	L19	L22
6	L19, Review(L20, 21), Vocabulary of L22	L23
7	Review(L22), Vocabulary of L23	L24
8	Review(L24), Vocabulary of L25	L25
9	Mid-term Examination	L26
10	Feedback of Mid-term Examination	L27
11	Review(L27), Vocabulary of L28	L28
12	Review(L28), Vocabulary of L29	L29
13	Review(L29), Vocabulary of L30	L30
14	Review(L30), Vocabulary of L31	L31
15	L33	L32
16	Final Examination	Review

レベル Level	授業科目 Subject	
初級集中基礎Ⅲ Intensive Basic III	初級集中基礎ⅢA Intensive Basic 3A	
	担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
総合A Total A	福岡 昌子 Fukuoka Masako	前期 水曜日 1・2限 Spring, Wed. 1-2 periods
文法A Grammar A	なかと りえこ Nakato Rieko	前期 火曜日 3・6限 Spring, Tue. 3-6 periods
授業の目標 Objectives	1. 日本語の基礎を復習する。To review Japanese Basics 2. 基本的な日常会話ができるようになる。 To become able to have daily conversation.	
教科書など Textbook(s) etc.	『みんなの日本語 初級Ⅱ』（スリーエーネットワーク） オリジナル教材他、テキストは一部コピー配布。 Minna no Nihongo Basic II (Three A Network) Other than textbooks, original text will be used and some handouts will be given.	
成績評価の方法 Manner of Assessment	中間試験 (40%)、期末試験 (40%)、出席率 (10%)、授業参加 (宿題) (10%) Mid-term Exam (40%), Final Exam (40%), Attendance (10%), Class Participation (10%)	

【授業の内容 Contents】

- 日本語の基礎を復習して、「読む」「書く」「聞く」「話す」のレベルを上げる。
Review basic Japanese to improve “Reading”, “Writing”, “Listening” and “Speaking”.
- 場面に合わせて、基本的な日常会話ができるように練習する。
Practice dairy conversation in different situation.

【授業計画 Syllabus】

授業回数	授業内容 Lesson
第1回	オリエンテーション、*Orientation 第34課 Lesson 34
第2回	第35課 Lesson 35
第3回	第36課 Lesson 36
第4回	第37課 Lesson 37
第5回	第38課 Lesson 38
第6回	第39課 Lesson 39
第7回	第40課 Lesson 40
第8回	第41課 Lesson 41
第9回	中間試験、復習 Mid-term Exam & Review
第10回	第42課 Lesson 42
第11回	第43課 Lesson 43
第12回	第44課、第45課 Lesson 44、 Lesson 45
第13回	第46課 Lesson 46
第14回	第47課 Lesson 47
第15回	第48課 Lesson 48
第16回	期末試験、復習 Final Exam & Review

レベル Level	授業科目 Subject
中級 I Intermediate I	文法・読解 A Grammar and Reading A ◎教養教育単位認定科目 「中級 I 文法・読解 A」 ◎Recognition of Credit by CLAS. “Intermediate I/ Grammar and Reading A
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
百瀬みのり Minori Momose	前期 月曜日 3・4 限 Spring, Mon. 3-4 periods
授業の目標 Objectives	<p>1. 初級の基礎力を定着させ、中級 I レベルの文法・読解力をつける。</p> <p>2. テキストの表現文型を身につけ、運用力を高める。</p> <p>3. 自分の意思を日本語で的確に相手に伝える力をつける。</p> <p>1.to have students acquire basic level Japanese proficiency and study immediate level grammar and comprehension.</p> <p>2.to learn and be able to use various sentences patterns to express themselves.</p> <p>3.to learn Japanese express to communicate accurately their own wishes.</p>
教科書など Textbook(s) etc.	『みんなの日本語 (中級 I 本冊)』(スリーエーネットワーク) Minna-no Nihongo(Intermediate I)(Therr A Net Work) Textbook should purchased.(This textbook will be also used in Spring Semester.)
成績評価の方法 Manner of Assessment	中間試験 (40%)、期末試験 (40%)、出席と授業参加 (20%) Mid-term Exam(40%), Final Exam(40%), Attendance and active participation(20%)

【授業の内容 Contents】

1. 新しい文法項目とことばを理解して、使えるように復習する。
1.to understand and practice new grammar contents and words.
2. 本文の内容をよく理解し、読解力を高める。
2.to understand passages well to improve comprehension.
3. 本文の内容をよく理解し、表現力を高める。
3.to understand passages well to improve impression.

じゆぎょうけいかく
【授業計画 Syllabus】

	がくしゅう か ないよう 学習する課・内容 Contents
だい しゅう 第1週 The 1 st	オリエンテーション、 <small>だい か ぶんぽう</small> 第1課：文法 Orientation Meeting , L1 Grammar
だい しゅう 第2週 The 2 nd	<small>だい か どっかい</small> 第1課：読解 L1 Reading Comprehension
だい しゅう 第3週 The 3 rd	<small>だい か ぶんぽう</small> 第2課：文法 L2 Grammar
だい しゅう 第4週 The 4 th	<small>だい か どっかい</small> 第2課：読解 L2 Reading Comprehension
だい しゅう 第5週 The 5 th	<small>だい か ぶんぽう</small> 第3課：文法 L3 Grammar
だい しゅう 第6週 The 6 th	<small>だい か どっかい</small> 第3課：読解 L3 Reading Comprehension
だい しゅう 第7週 The 7 th	<small>だい か だい か</small> 第1課～第3課のまとめ L1~L3 mid-term summary
だい しゅう 第8週 The 8 th	<small>ちゅうかんしけん だい か だい か</small> 中間試験 第1課～第3課 Mid-term Exam(L1 to L3)
だい しゅう 第9週 The 9 th	<small>だい か ぶんぽう</small> 第4課：文法 L4 Grammar
だい しゅう 第10週 The 10 th	<small>だい か どっかい</small> 第4課：読解 L4 Reading Comprehension
だい しゅう 第11週 The 11 th	<small>だい か ぶんぽう</small> 第5課：文法 L5 Grammar
だい しゅう 第12週 The 12 th	<small>だい か どっかい</small> 第5課：読解 L5 Reading Comprehension
だい しゅう 第13週 The 13 th	<small>だい か ぶんぽう</small> 第6課：文法 L6 Grammar
だい しゅう 第14週 The 14 th	<small>だい か どっかい</small> 第6課：読解 L6 Reading Comprehension
だい しゅう 第15週 The 15 th	<small>だい か だい か</small> 第4課～第6課のまとめ L4~L6 final summary
だい しゅう 第16週 The 16 th	<small>きまつしけん だい か だい か</small> 期末試験 第4課～第6課 Final Exam(L4to L6)

レベル Level	授業科目 Subject
中級 I Intermediate I	作文 A Writing A ◎教養教育単位認定科目 「中級 I 読解・作文 A」 ◎Recognition of Credit by CLAS Intermediate I Reading and Writing A
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
松岡知津子 Chizuko Matsuoka	前期 木曜日 3・4 限 Spring, Thu. 3-4 periods
授業の目標 Objectives	初級の基礎力を定着させ、運用力を高める。
教科書など Textbook(s) etc.	プリント
成績評価の方法 Manner of Assessment	中間試験 (40%)、期末試験 (40%)、出席と授業参加 (20%) Mid-term Exam (40%), Final Exam (40%), Attendance and active participation (20%)

【授業の内容 Contents】

新しい文法項目とことばを理解して、あるトピックについて書く練習をする。

【授業計画 Syllabus】

	学習する課・内容 Contents
第1週 The 1 st	オリエンテーション、Basic II の復習 Orientation Meeting, Review of Basic II
第2週 The 2 nd	「①紹介する」 Introducing yourself, family, university
第3週 The 3 rd	「②友達について」 About your friends
第4週 The 4 th	「③自分の国の住まいについて」 About your country's house
第5週 The 5 th	「④ルールについて」 About rules
第6週 The 6 th	「⑤外来語について」 About foreign originated words
第7週 The 7 th	「⑥まとめ」 Review
第8週 The 8 th	中間試験 (①～⑥) Mid-term(① to ⑥)
第9週 The 9 th	「⑦<である体>で書く」 Writing in plain form
第10週 The 10 th	「⑧新聞・雑誌の記事を書く」 Writing an article of Newspaper or Magazine
第11週 The 11 th	「⑨電話について」 About telephone
第12週 The 12 th	「⑩10年後の自分について」 About myself in 10 years
第13週 The 13 th	「⑪常識について」 About common sense
第14週 The 14 th	「⑫まとめ」 Review
第15週 The 15 th	期末試験 (⑦～⑫) Final Exam (⑦ to ⑫)
第16週 The 16 th	「フィードバック」 Feedback

レベル Level	授業科目 Subject
中級I Intermediate I	聴解A Listening Comprehension A
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
太田 慶子 Keiko Oota	前期 月曜日 7・8限 Spring, Mon.7-8 periods
授業の目標 Objectives	<p>1. 日本語の会話や講義などを正確に理解できるようになる。 To be able to accurately understand Japanese conversations and lectures</p> <p>2. 日本語の会話に参加できるようになる。 To be able to participate in conversations in Japanese</p> <p>3. 幅広いトピックから語彙、表現を増やす。 To increase vocabulary through wide variety of topics</p>
教科書など Textbook(s) etc.	<p>プリントにて配布。Handouts will be given. 『日本語生中継 初中級編 I』(くろしお出版) Nihongo nama chukei: Elementary and intermediate I (Kuroshio Publisher)</p> <p>『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ』(スリーエーネットワーク) Ryugakusei no tame no academic Japanese (3 A Corporation) その他 etc.</p>
成績評価の方法 Manner of Assessment	<p>出席 attendance (15%)、小テスト mini-tests (15%)、 中間試験 mid-term exam (30%)、期末試験 final exam (40%)</p>

【授業の内容 Contents】

1. 新しい語彙、表現を学習する。To learn new vocabulary and expressions
2. CDを聞いて問題を解く。To listen to CD and answer questions
3. 会話を練習する。To practice conversation

【授業計画 Syllabus】

第1回 Week1	授業説明 introduction 『日本語生中継』第2課
第2回 Week2	『日本語生中継』第2課
第3回 Week3	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ』第1課
第4回 Week4	『日本語生中継』第4課
第5回 Week5	『日本語生中継』第4課
第6回 Week6	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ』第7課
第7回 Week7	『日本語生中継』第6課
第8回 Week8	中間試験 mid-term exam
第9回 Week9	『日本語生中継』第6課
第10回 Week10	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ』第11課
第11回 Week11	『日本語生中継』第8課
第12回 Week12	『日本語生中継』第8課
第13回 Week13	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ』第13課
第14回 Week14	『日本語生中継』第10課
第15回 Week15	『日本語生中継』第10課
第16回 Week16	期末試験 final exam

レベル Level	授業科目 Subject
中級 I Intermediate I	会話 A Conversation A
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
大野 陽子 Yoko Oono	前期 金曜日 1・2限 Spring, Fri. 1-2 periods
授業の目標 Objectives	<p>1. 話し相手との関係や状況に合った会話ができるようになる。</p> <p>2. 話し相手にとってわかりやすい話し方ができるようになる。</p> <p>1. To be able to make conversation in different situation.</p> <p>2. To be able to speak clearly for listeners.</p>
教科書など Textbook(s) etc.	<p>教材はコピー配布。授業中の会話を録音して、教材として使うことがあります。</p> <p>Handouts will be given: Speeches and conversation in the class maybe recorded and used for study materials.</p>
成績評価の方法 Manner of Assessment	<p>授業中の発表 (30%)、中間試験 (30%)、期末試験 (40%) 合計が 60%以上で合格です。</p> <p>出席率は 66.7%以上なければなりません。</p> <p>Presentation (30%), Mid-term Exam (30%), Final Exam (40%) and students are required to attend 2/3 of the classes.</p>

【授業の内容 Contents】

1. シャドーイングなどで、日本語の発音の練習をします。
2. ロールプレーなどで、いろいろな場面の会話を練習します。
 1. To practice pronunciation with shadowing technique.
 2. To practice speeches on different themes by roll playing.

【授業計画】内容は授業の状況によって変更する場合があります。

第1回～第6回：誘う、頼む、許可を求める など

第7回： 中間試験（紙の試験ではなく、話す試験です）

第8回～第15回：謝る、断る、アドバイスをする、困っていることを伝える など

第16回： 期末試験（紙の試験ではなく、話す試験です）

【Syllabus】 Contents of classes may be subject to change according to the progress.

L1-L6: Inviting, requesting and asking permission, etc.

L7: Mid-term Exam (Speaking test not written test)

L8-L15: Apologizing, declining, giving advice, tell someone that you are in difficult situation, etc.

L16: Final Exam (Speaking test not written test)

レベル Level	授業科目 Subject
中級II Intermediate II	文法・読解A Grammar and Reading A ◎教養教育単位認定科目 「中級I文法・読解A」 ◎Recognition of Credit by CLAS. “Intermediate I/ Grammar and Reading A”
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
福岡昌子 Masako Fukuoka	前期 月曜日 5・6限 Spring, Mon. 5-6periods
授業の目標 Objectives	1. 日本語の文章(文学、評論、自然科学)を読むことで、その面白さを味わい、十分な理解ができるようになる。 2. 読解ストラテジー、日本語の文章を読む技術を学ぶ。
教科書など Textbook(s) etc.	テキスト『日本文化を読む』(中上級者向け)(上級者向け)アルク 一部をコピーして配布する。
成績評価の方法 Manner of Assessment	中間試験(50%)、課題の発表(20%)、課題レポート(20%)、出席率(10%)

【授業の内容 Contents】

- ・「日本文化を読む」(アルク)を使用し、中・中上級レベルの学生が、レベルに合った上質な文章(文学、評論、自然科学)を読み理解する。
- ・自分の好きな日本の文学作品やエッセイを1つ選び、作品の内容やその一部を読んでみんなに紹介する。

【授業計画 Syllabus】

第1回	オリエンテーション
第2回	「日本文化を読む」1 ぶぶづけ
第3回	2 やっぱり敬語が必要なわけ
第4回	// 3 大根を半分
第5回	// 4 隣人訴訟事件
第6回	// 5 吟味された言葉
第7回	// 6 新社会人劇場
第8回	// 7 雨傘
第9回	// 8 字のないはがき
第10回	中間試験
第11回	試験のフィードバック 9 途中下車
第12回	課題発表 1
第13回	課題発表 2
第14回	課題発表 3
第15回	課題発表 4
第16回	期末レポートの提出

レベル Level	授業科目 Subject	
中級Ⅱ Intermediate Course II	読解・作文A Writing A	◎教養教育単位認定科目 「中級Ⅰ読解・作文A」 ◎Recognition of Credit by CLAS Intermediate I Reading and Writing A
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule	
松岡 知津子 Matsuoka Chizuko	前期 木曜日 1・2限 Spring, Thu. 1-2 periods	
授業の目標 Objectives	日本語で論文やレポートなどの文章を書くために必要な表現が理解でき、より自然な文が使えるようになることを目指す。	
教科書など Textbook(s) etc.	小論文への12のステップ(スリーエネットワーク)、そのほかの教材	
成績評価の方法 Manner of Assessment	出席率10%、授業参加度20%、中間試験35%、期末試験35%	

【授業の内容 Contents】

- 論文・レポート執筆に必要な表現を学ぶ。

【授業計画 Syllabus】

	授業の内容
第1回	書き言葉の文体
第2回	正しい構造の文
第3回	文のつながり
第4回	小論文によく使われる表現
第5回	段落
第6回	要約文を書く
第7回	復習(1)
第8回	中間テスト
第9回	中間テストフィードバック、説明文を書く
第10回	説明文を書く
第11回	意見文を書く
第12回	数値を示す・事実を示す
第13回	小論文のはじめとおわり
第14回	復習(2)
第15回	期末テスト
第16回	期末テストフィードバック

レベル Level	授業科目 Subject
中級Ⅱ Intermediate Course II	聴解・会話 A Listening and Conversation A ◎教養教育単位認定科目 「中級Ⅱ聴解・会話 A」 ◎Recognition of Credit by CLAS Intermediate Course II/Listening and Conversation A
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
福岡 昌子 Masako Fukuoka	前期 水曜日 5・6限 Spring, Wed. 5-6 periods
授業の目標 Objectives	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本社会と文化に携わる人々へのインタビュー教材を通して、会話の聴解力を高める。 2. インタビュー会話の中の会話のキーワードを学ぶ。 3. 日本語のアクセント、イントネーション、スピードなどの音声表現に注意しながら、会話能力を高める。
教科書など Textbook(s) etc.	オリジナル教材を適宜配布する。
成績評価の方法 Manner of Assessment	課題 (40%)、期末試験 (50%)、出席率 (10%)

【授業の内容 Contents】

1. 授業の前半は、インタビュー教材のテープを聞いたり、設問に答えたりする。
2. 授業の後半は、何について、誰に、どのようにインタビューをするか、グループで計画・実施し、そのインタビュー内容について、パワーポイントを使って発表する。
3. 聴解練習や会話練習を通して、日本語の話し言葉としての音声表現や会話の技術を学ぶ。

【授業計画 Syllabus】

回	授業の内容
第 1 回	オリエンテーション、インタビュー教材 第 1 課、舞妓
第 2 回	インタビュー教材 第 2 課 僧侶
第 3 回	インタビュー教材 第 3 課 落語家
第 4 回	インタビュー教材、第 4 課 剣道家
第 5 回	インタビュー教材、第 5 課 政治家
第 6 回	インタビュー教材、第 6 課 力士
第 7 回	インタビュー教材、第 7 課 漫画家
第 8 回	インタビュー教材、第 8 課 介護士
第 9 回	インタビュー教材、第 9 課 真珠業者
第 10 回	インタビュー教材、課題の発表方法について、グループによる計画案の作成
第 11 回	インタビュー教材、グループによるインタビューの実施、パワーポイントの作成
第 12 回	課題の発表 1
第 13 回	課題の発表 2
第 14 回	課題の発表 3
第 15 回	課題の発表 4
第 16 回	期末試験

レベル Level	授業科目 Subject
中級Ⅱ Intermediate II	文法 Grammar
担当教官 Instructor(s)	開講時間 Schedule
太田 慶子(Keiko Oota)	前期 月曜日 9・10限 Spring, Mon. 9-10 periods
授業の目標 Objectives	<ul style="list-style-type: none"> 日本語の文章や会話がより深く理解できる 自分でも使用することで、日本人とのコミュニケーションが豊かになる
教科書など Textbook(s) etc.	『どんなきどう使う日本語表現文型500』アルク
成績評価の方法 Manner of Assessment	出席15% 小テスト15% 宿題20% 期末テスト50%

【授業の内容Contents】

- 中級後半から上級学習者にとって必要な文法や表現を例文を参考に学ぶ
- 中級後半から上級レベルに必要な文法を学習することにより、多様な日本語表現に慣れ、理解が深まる

【授業計画Syllabus】

第1回	第一課
第2回	第二課
第3回	第三課
第4回	第四課
第5回	第五課
第6回	第六課
第7回	第七課
第8回	第八課
第9回	第九課
第10回	第十課
第11回	第十一課
第12回	第十二課
第13回	第十三課
第14回	第十四課
第15回	第十五課
第16回	期末テスト

授業形態 (言語) Type (Language)	かちくめい 科目名 Subject
ちゅうきゅう 中級 II Intermediate Course II	どっかい 読解 Reading
たんとうきょういん 担当教員 Instructor(s)	かいこうじかん 開講時間 Schedule
なかとりなこ 仲渡理恵子 Rieko Nakato	ぜんき かようび げん 前期 火曜日 7・8限 Spring, Tue. 7-8periods
じゅぎょう もくひょう 授業の目標 Objectives	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新聞記事特有の表現や語彙が理解でき、使いこなせるようになる。 2. ニュース (CD) を聞いて、要点をまとめることができる。 3. 気になるニュースについて、意見を発表できるようになる。
きょうかしょ 教科書など Textbook(s) etc.	プリントを適宜配布する。
せいせきひょうか ほうほう 成績評価の方法 Manner of Assessment	しゅつせき じゅぎょうさんかど ほんぽう いげん ちゅうかんしけん きまつしけん 出席・授業参加度 (20%)、発表 (10%)、中間試験 (35%)、期末試験 (35%)

【授業の内容 Contents】

- ・新聞記事の読解だけでなく、聞き取りや語彙、表現や例文作成、意見発表など多角的な講読演習を行う。

【授業計画 Syllabus】

だい かい 第1回	オリエンテーション、新聞について
だい かい 第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュース発表 ・ニュース聞き取り
だい かい 第3回	
だい かい 第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞講読演習 (読解、語彙、文法、例文作成)
だい かい 第5回	
だい かい 第6回	<ul style="list-style-type: none"> ・例文発表
だい かい 第7回	
だい かい 第8回	ちゅうかんしけん 中間試験
だい かい 第9回	ちゅうかんしけん 中間試験フィードバック、新聞講読演習 (読解、語彙、文法、例文作成)
だい かい 第10回	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュース発表 ・ニュース聞き取り
だい かい 第11回	
だい かい 第12回	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞講読演習 (読解、語彙、文法、例文作成)
だい かい 第13回	
だい かい 第14回	<ul style="list-style-type: none"> ・例文発表
だい かい 第15回	きまつしけん 期末試験
だい かい 第16回	きまつしけん 期末試験フィードバック

レベル Level	授業科目 Subject
上級 Advanced	上級総合日本語 1A Advanced Comprehensive Japanese 1A ◎教養教育単位認定科目 「上級総合日本語 1A」 ◎Recognition of Credit by CLAS Advanced Comprehensive Japanese 1A
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
松岡 知津子 Chizuko Matsuoka	前期 木曜日 7・8 限 Spring Thu. 7-8 periods
授業の目標 Objectives	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションで用いる表現が使えるようになる ・効果的なプレゼンテーションができるようになる ・上級レベルのメールが書けるようになる
教科書など Textbook(s) etc.	なし
成績評価の方法 Manner of Assessment	出席 20%、宿題 10%、レポート 35%、プレゼンテーション 35%

【授業の内容 Contents】

1. 依頼やお詫びなどの上級レベルのメールを書く練習をする
2. あるトピックについての資料を探し、調査する
3. PPT を使ったプレゼンテーション資料を作成する
4. 効果的なプレゼンテーション方法について学ぶ

【授業計画 Syllabus】

第1回～第4回は、場面に応じた上級レベルのメールの書き方を学ぶ

第5回以降は、グループに分かれてテーマを設定し、そのテーマについて調査をする。そしてその調査結果をパワーポイントにまとめて発表する。

レベル Level	授業科目 Subject
上級 Advanced	留学生と学ぶ日本（日本理解特殊講義）2A ◎教養教育単位認定科目 Lecture Course in Understanding Japan 2A 「上級総合日本語 1A」 ◎Recognition of Credit by CLAS Lecture Course in Understanding Japan 2A
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
福岡昌子 Masako Fukuoka	前期 水曜日 9・10 限 Spring, Wed. 9-10 periods
授業の目標 Objectives	1. 異文化の視点を尊重できるようになる。 2. 日本社会と日本文化について、異文化の視点で物事を理解し、考えられるようになる。 3. 日本社会と日本文化について観察力を磨き、自分の考えをまとめて発表できるようになる。 4. 日本人学生と留学生がディスカッションを通して交流できる。
教科書 Textbook(s) etc.	教材はコピー配布。
成績評価の方法 Manner of Assessment	出席率・授業態度（10%）、議論評価（30%）、口頭発表や資料作成（20%） レポート（40%）

【授業の内容 Contents】

1. 日本人学生と留学生が共に日本の社会や文化について学び討論する。互いに異文化の視点を尊重しながら、日本の社会や文化について、日本人学生は留学生に説明し、留学生はそれぞれの文化との比較の視点を提供する。
2. 受講者は、社会や文化に対する観察力を磨き、自分の考えをまとめて発表する能力を養う。

【授業計画 Syllabus】

第 1 回	オリエンテーション、トピックの選択、討論のための表現、座長グループの役割について
第 2 回	討論の模擬体験 1、討論の進め方
第 3 回	討論の模擬体験 2、討論の進め方
第 4 回	グループによる企画・検討、グループ決め、トピックの検討、提出資料の検討
第 5 回	グループによる企画・検討、提出資料の検討、トピックの提出
第 6 回	座長グループ主導によるディスカッション 1
第 7 回	座長グループ主導によるディスカッション 2
第 8 回	座長グループ主導によるディスカッション 3
第 9 回	座長グループ主導によるディスカッション 4
第 10 回	座長グループ主導によるディスカッション 5
第 11 回	座長グループ主導によるディスカッション 6
第 12 回	座長グループ主導によるディスカッション 7
第 13 回	座長グループ主導によるディスカッション 8
第 14 回	座長グループ主導によるディスカッション 9
第 15 回	座長グループ主導によるディスカッション 10
第 16 回	レポートの提出

コース Course	授業科目 Subject
上級 Advanced	上級総合日本語 3A Advanced Total Japanese3A
担当教官 Instructor(s)	開講時間 Schedule
ふくおか まさこ 福岡 昌子 Masako FUKUOKA	前期 月曜日 7 - 8 限 Spring, Mon. 7-8periods
授業の目標 Objectives	1. これまで学んできた敬語の復習や整理をして、正しい敬語の使い方を学ぶ。 2. 敬語を実際に自分のものとして、使えるようになるために、実践練習をする。
教科書など Textbook(s) etc.	教材はコピー配布する。 (『敬語』(荒竹出版)その他関連教材。)
成績評価の方法 Manner of Assessment	出席率(10%)、期末テスト(50%)、課題(40%)(発表20%、手紙20%)

【授業の内容 Contents】

1. コースの前半では、尊敬語、謙譲語、丁寧語の形式、使い方について、敬語の基礎知識を整理し、練習問題を解きながら応用力を高める。
2. コースの後半では、グループに分かれ、自分たちが選んだゲストを授業にお呼びし、簡単なミニ講演をしていただく。依頼から当日のミニ講演(質疑応答やディスカッションを含む)、御礼の手紙など一連の活動において、敬語による実践練習を行う。

【授業計画 Syllabus】

回	授業の内容
第1回	オリエンテーション、課題について、1. 敬語の使い方①
第2回	2. 敬語の使い方②
第3回	3. 丁寧語
第4回	4. 尊敬語
第5回	5. 謙譲語
第6回	6. 総合練習①
第7回	7. 総合練習②
第8回	グループ活動：実践練習のための企画
第9回	グループ活動：実践練習のための敬語練習
第10回	グループ発表1 ゲスト1
第11回	グループ発表2 ゲスト2
第12回	グループ発表3 ゲスト3
第13回	グループ発表4 ゲスト4
第14回	グループ発表5 ゲスト5
第15回	期末テスト
第16回	試験のフィードバック、課題(手紙)の提出

コース Course	授業科目 Subject
日本語・日本文化研修 The Japanese Language and Culture Studies	日本語・日本文化演習A Japanese & Culture Seminar A
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
福岡 昌子 Masako Fukuoka 松岡 知津子 Chizuko Matsuoka 栗田 聡子 Satoko Kurita 正路 真一 Shinichi Shoji	前期 金曜日 5・6 限目 Spring, Fri. 5-6 periods
授業の目標 Objectives	アカデミックな文章を書くための基礎的方法を学び、自分の研究内容を「研究レポート」としてまとめ、口頭発表する力をつける。 To learn the way to write the academic sentences and make a summaries of your research as the Study Report then be able to make the Oral presentations.
教科書など Textbook(s) etc.	指導教員の指示による。 Instructions of the Academic Advisors.
成績評価の方法 Manner of Assessment	指導教員の評定基準による。 Grades Standards of the Academic Advisors.

【授業の内容】

この授業は、日本語・日本文化研修留学生のための授業科目です。それぞれの指導教員の指導に基づき、研究計画を立て、それに沿って研究を進めます。「研究レポート」の作成、および二度の口頭発表(中間発表会、研究成果発表会)に向けて、準備を進めます。

「研究レポート」に関する予定については、この冊子の「3. 受講者別履修案内」の「2. 日本語・日本文化研修留学生」の説明を参照してください。

This course is for the Japanese Studies Students. Students are to conduct their studies in accordance with their academic advisor's advices. They are also required to prepare for writing study reports and making presentations orally as their Mid-term exam and the Final exam.

Please see the pages of “2. Japanese Studies Students” at “3. Course Information” in this course guide for details.

選択科目 : Elective Classes

～Spring Semester～

せんたくか もく ぜんき
選択科目(前期)

Electives (Spring Semester)

コース・コーディネータ：松岡 知津子
Course Coordinator : Chizuko Matsuoka

コースの目標 Objective :

- ・自分の日本語レベルやニーズに合わせて、日本語を勉強します。
- ・わからないときは、コース・コーディネーターに相談してください。
- ・ In this course, students are to study Japanese based on their own level and needs.
- ・ If you have any questions, please contact the course coordinator.

科目とクラスを受けることができる人 Classes & Qualifications :

初級基礎 I の学生対象 (For Basic I):

文字・語彙 1 A Character and Vocabulary 1A 大野 (Oono) 月 1・2 Mon. 1-2

初級基礎 II, III の学生対象 (For Basic II & Intermediate I):

文字・語彙 1 A Character and Vocabulary 1A 大野 (Oono) 月 1・2 Mon. 1-2
中級へのステップ・アップクラス A 大野 (Oono) 金 3・4 Fri. 3-4
Step-up to Intermediate Class A

中級 I の学生対象 (For Intermediate I):

中級へのステップ・アップクラス A 大野 (Oono) 金 3・4 Fri. 3-4
Step-up to Intermediate Class A

中級 II の学生対象 (For Intermediate II & Advanced):

上級へのステップ・アップクラス A
Step-up to Advanced Class A 伊藤 (Ito) 木 9・10 Thu. 9-10
日本事情1A◎ Japanese Culture and Society 1A ◎ 正路 (Shoji) 火 5・6 Tue. 5-6

上級の学生対象 (Elective Classes for Intermediate II & Advanced) :

上級へのステップ・アップクラス A
Step-up to Advanced Class A 伊藤 (Ito) 木 9・10 Thu. 9-10
日本事情1A◎ Japanese Culture and Society 1A ◎ 正路 (Shoji) 火 9・10 Tue. 9-10

(備考)

◎は学部正規生教養教育の単位認定科目です。詳しくは p21 を見て下さい。

(Note)

◎mark shows the subjects for the College of Liberal Arts and Sciences. Please refer to page 23.

レベル Level	授業科目 Subject
選択科目 Electives	文字・語彙 1 A Character and Vocabulary 1A
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
大野 陽子 Yoko Oono	前期 火曜日 1・2限 Spring, Tue. 1-2 periods
授業の目標 Objectives	初級のことばや漢字を勉強して、つかえるようにする To be able to use basic vocabulary and kanji-chinese characters.
教科書など Textbook(s) etc.	プリント配布 Handouts will be given
成績評価の方法 Manner of Assessment	宿題 (20%)、中間試験 (40%)、期末試験 (40%)。 出席率は 66.7%以上必要です。 Homework assignment (20%), mid-term examination (40%), final examination (40%), need to attend two-thirds or more.

【授業の内容 Contents】

1. 初級のことばを勉強します。 Studying basic vocabulary.
2. 漢字の読み方、書き方を勉強します。 Studying how to read and write kanji.

【授業計画 Syllabus】

回 Lesson	学習内容 Contents
第1回	オリエンテーション、ひらがなとカタカナの練習 L1 Orientation, Practice for Hiragana and Katakana
第2回	ひらがなとカタカナのことば (1) L2 Vocabulary in Hiragana and Katakana (1)
第3回	漢字・ひらがなとカタカナのことば (2) L3 Vocabulary in Kanji, Hiragana and Katakana (2)
第4回	漢字・ひらがなとカタカナのことば (3) L4 Vocabulary in Kanji, Hiragana and Katakana (3)
第5回	漢字・ひらがなとカタカナのことば (4) L5 Vocabulary in Kanji, Hiragana and Katakana (4)
第6回	漢字・ひらがなとカタカナのことば (5) L6 Vocabulary in Kanji, Hiragana and Katakana (5)
第7回	漢字・ひらがなとカタカナのことば (6) L7 Vocabulary in Kanji, Hiragana and Katakana (6)
第8回	中間テスト (1～6) L8 Mid-term exam (1-6)
第9回	中間テストフィードバック、漢字・ひらがなとカタカナのことば (7) L9 Feed-back for mid-term exam, Vocabulary in Kanji, Hiragana and Katakana (7)
第10回	漢字・ひらがなとカタカナのことば (8) L10 Vocabulary in Kanji, Hiragana and Katakana (8)
第11回	漢字・ひらがなとカタカナのことば (9) L11 Vocabulary in Kanji, Hiragana and Katakana (9)
第12回	漢字・ひらがなとカタカナのことば (10) L12 Vocabulary in Kanji, Hiragana and Katakana (10)
第13回	漢字・ひらがなとカタカナのことば (11) L13 Vocabulary in Kanji, Hiragana and Katakana (11)
第14回	漢字・ひらがなとカタカナのことば (12) L14 Vocabulary in Kanji, Hiragana and Katakana (12)
第15回	期末テスト (7～12) L15 Final exam (7-12)
第16回	期末テストのフィードバック、まとめ L16 Feed-back for Final exam, Summary

レベル Level	授業科目 Subject
選択科目 Electives	文字・語彙 2 A Character and Vocabulary 1A
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
百瀬 みのり Minori Momose	前期 月曜日 1・2限 Spring, Mon 1-2 periods
授業の目標 Objectives	1. 日本語の基礎的な文字・語彙について読み書きする能力をつける。 2. 各自の専門科目で必要な文字・語彙について読み書きする能力をつける。 1.to learn basic Japanese literacy. 2.to learn necessary Japanese literacy for each major subject.
教科書など Textbook(s) etc.	『新版 BASIC KANJI BOOK -基本漢字500- vol.1』(凡人社) Sinpan BASIC KANJI BOOK -BASIC KANJI 500- vol.1 (BONJINSHA CO., LTD. Textbook should be purchased.(This textbook will be also used in Spring Semester.)
成績評価の方法 Manner of Assessment	中間試験 (40%)、期末試験 (40%)、出席と授業参加 (20%) Mid-term Exam(40%), Final Exam(40%), Attendance and active participation(20%)

【授業の内容 Contents】

- 基本的な日本語の文字・語彙について実際に読む・書く機会をつくる。
1. to learn basic Japanese Kanji, words, vocabulary.
- 専門科目で必要な文字・語彙を読む・書く機会を作り、日本語能力を高める。
2. to learn necessary Japanese Kanji, words, vocabulary for each major subject for improving their ability.

【授業計画 Syllabus】

回 Lesson	学習内容 Contents
第1回	オリエンテーション、第1課～第11課の復習。 The 1st Orientation Meeting, Review (L1~L11)
第2回	第12課 部首 2 かんむり、あしのついた漢字。 The 2nd Radicals-2-top, bottom
第3回	第12課 部首 2 かんむり、あしのついた漢字の復習。部首ゲーム。 The 3rd Review Radicals-2-top, bottom, Radical game2
第4回	第13課 部首 3 たれ、かまえのついた漢字。 The 4th Radicals-3-upper, left, enclosure
第5回	第13課 部首 3 たれ、かまえの付いた漢字の復習。店の名前。 The 5th Review Radicals-3-upper, left, enclosure, Shop Names
第6回	第14課 部首 4 によ のついた漢字。 The 6th Radicals—4—lower, left
第7回	第14課 部首 4 によのついた漢字の復習。形声文字について。第12課～第14課のまとめ。 The 7th Review Radicals—4—lower, left, Phonetic-ideographic Characters , Review(L12~L14)
第8回	中間試験 第12課～第14課。 The 8th Mid-term Exam(L12 to L14)

第9回 第15課 人の関係をあらわす漢字。

The 9th Personal Relationships

第10回 第15課 人の関係をあらわす漢字の復習。

The 10th Review Personal Relationships

第11回 復習 第11課～第15課。

The 11th Review lesson11 to 15

第12回 復習 第11課～第15課を踏まえて日本語作文課題。

The 12th Review lesson11to15, Japanese Composition

第13回 第16課 形容詞の漢字2。

The 13th Adjective-2-

第14回 第16課 形容詞の漢字2の復習。病院で。

The 14th Review Adjective-2-, in a Hospital

第15回 第15課～第16課のまとめ。

The 15th Review lesson 15 to 16

第16回 期末試験 第15課～第16課。

The 16th Final Exam (L15 to L16)

レベル Level	授業科目 Subject
選択科目 Electives	中級へのステップ・アップクラスA Step-up to Intermediate Class A
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
大野 陽子 Yoko Oono	前期 金曜日 3・4限 Spring, Fri. 3-4 periods
授業の目標 Objectives	日本語能力試験 (N3) の文法・語彙・読解・聴解ができるようになる。 To learn grammar, vocabulary, reading and listening for the Level 3 of the Japanese Proficiency Test.
教科書など Textbook(s) etc.	教材はコピー配布。 Handouts will be given.
成績評価の方法 Manner of Assessment	授業中の参加度 (10%)、課題 (20%)、中間試験 (30%)、期末試験 (40%)。 出席率は66.7%以上なければなりません。 Class participation (10%), homework assignment (20%) mid-term exam (30%), final exam (40%), need to attend two-thirds or more.

【授業の内容 Contents】

1. 初級で習った文法の復習をしながら、日本語能力試験N4～N3レベルの文法・語彙・聴解の学習をします。
1. While reviewing grammar in the basic classes, students are to learn grammar, vocabulary, and listening for the Level 4 and 3 of the Japanese Proficiency Test.

【授業計画 Syllabus】内容は授業の状況によって変更する場合があります。

第1回～第7回 : 文法・語彙・読解・聴解
第8回 : 中間試験
第9回～第15回 : 文法・語彙・読解・聴解
第16回 : 期末試験

Contents of classes may be subject to change according to the progress.

L1~L7 : Grammar, Vocabulary, Reading, and Listening
L8 : mid-term exam
L9~L15 : Grammar, Vocabulary, Reading and Listening
L16 : final exam

レベル Level	授業科目 Subject
選択科目 Electives	上級へのステップ・アップクラスA Step-up to Advanced Class A
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
伊藤 晴苗 Haruna Ito	前期 木曜日9・10限 Spring, Thu. 9-10 periods
授業の目標 Objectives	日本語能力を総合的に中級から上級レベルに引き上げる。
教科書など Textbook(s) etc.	『新・中級から上級への日本語』(The Japan Times) 教科書は各自購入すること。
成績評価の方法 Manner of Assessment	出席 attendance (10%)、小テスト mini-tests (20%)、 中間試験 mid-term exam (30%)、期末試験 final exam (40%)

【授業の内容 Contents】

- 1) 「読み教材」の内容を理解し、自分の意見を述べる。
- 2) 表現、文法、語彙を学び、定着と応用を図る。
- 3) 内容についてクラスで話し合ったり、記述してまとめたりする。

【授業計画 Syllabus】

	授業の内容
第1回	授業の説明、第1課 読解「自己紹介と本当の自分」
第2回	第1課 文法
第3回	第1課 文法
第4回	第2課 読解「若者の自己評価」
第5回	第2課 文法
第6回	第3課 読解「ジェンダーを考える」
第7回	第3課 文法
第8回	中間試験
第9回	日本語能力試験対策
第10回	日本語能力試験対策
第11回	日本語能力試験対策
第12回	第4課 読解「ことばと文化」
第13回	第4課 文法
第14回	第5課 読解「心と体のバランス」
第15回	第5課 文法
第16回	期末試験

授業形態 (言語) Type (Language)	科目名 Subject	
講義 (日本語) Lecture in Japanese	三重の社会と文化A The Society and Culture of Mie A ★国際交流センター日本語教育科目 「三重学」	
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule	
正路 真一 Shinichi Shoji	前期 火曜日 9・10限 Spring, Tue. 9-10 periods	
授業の目標 Objectives	三重の社会と文化を理解し、これについて考え、意見を提言することができるようになる。(The objective of the class is to understand the society and culture of Mie, to think about them, and to provide suggestions.)	
教科書など Textbook(s) etc.	授業中に資料を配布する。(Handouts are provided in class.)	
成績評価の方法 Manner of Assessment	出席(Arrival)10%、学外研修前レポート(Pre-field-trip paper)30%、学外研修後レポート(Post-field-trip paper)30%、プレゼンテーション(Presentation)30%	

【授業の内容 Contents】

三重の社会と文化を学習する。学期中4回学外研修に出かける。(学外研修には火曜日午後の7、8、9、10限を当てる。)行き先は、三重の歴史、社会、文化について見学・学習できる場所とする。学外研修前に行き先についての事前学習をし、研修後に振り返りの学習をする。また、学期末にパワーポイントプレゼンテーションを行う。(Students learn together the society and culture of Mie. The class includes 4 field trips per semester. (Two class sessions [7, 8, 9, 10 class periods] are used for one field trip on Tuesday afternoons.) Field trip destinations include places where students can observe and learn history, society and culture of Mie. Students research and learn the destinations prior to the field trips, and discuss the findings after the field trips. Also, a semester-end PowerPoint presentation is assigned.)

【授業計画 Syllabus】

- 第1回：オリエンテーション Orientation
- 第2回：学外研修①事前学習 Pre-trip study
- 第3回：学外研修① Field trip1 (7, 8, 9, 10限 14:40-17:50)
- 第4回：学外研修①振り返り学習、学外研修②事前学習 Post-trip study, Pre-trip study
- 第5回：学外研修② Field trip 2 (7, 8, 9, 10限 14:40-17:50)
- 第6回：学外研修②振り返り学習、学外研修③事前学習 Post-trip study, Pre-trip study
- 第7回：学外研修③ Field trip 3 (7, 8, 9, 10限 14:40-17:50)
- 第8回：学外研修③振り返り学習、学外研修④事前学習 Post-trip study, Pre-trip study
- 第9回：学外研修④ Field trip 4 (7, 8, 9, 10限 14:40-17:50)
- 第10回：学外研修④振り返り学習 Post-trip study
- 第11回：休み No class
- 第12回：授業 Class
- 第13回：授業 Class
- 第14回：休み No class
- 第15回：休み No class
- 第16回：口頭発表 Oral presentation

【注意事項 Important Notess】

学外研修には7、8、9、10限の時間帯を当てるので、7、8限に他のクラスを受講している学生はこのクラスを受講できない。(Because two class sessions [7, 8, 9, 10 class periods] are used for one field trip, students who are taking another class in the 7, 8 class periods cannot take this class.)

学外研修には一台のバスに乗って行くが、バスの座席に限りがあるので、受講希望者数が座席数を上回る場合、いくつかの学生には受講を取りやめてもらわなければならない。例えば初回の授業を欠席した学生

は、受講をお断りする可能性が高い。(Students go on a field trip by a bus, whose seats are limited. If the number of students who want to take this class exceeds the number of the bus seats, some students have to be dismissed from this class, e.g., Students who did not show up the first class meeting of the semester may be dismissed from this class.)

1 レベル Level	授業科目 Subject
上級 Advanced	日本語教育入門 A Introduction to Teaching Japanese as a Second Language A
担当教官 Instructor(s)	開講時間 Schedule
センター教員他	前期・水曜日 3・4 限 Spring Wed 3-4periods
授業の目標 Objectives	<ul style="list-style-type: none"> 日本語教育の全体像および三重県における現状に関する知識を得る。 日本語教育を必要としている外国人の様々な背景を踏まえた上で理解する。 得た知識や理解をもとに、将来的に予測される課題を具体的に挙げるとともに、解決案を考えて、それを他者に伝えることができる。
教科書など Textbook(s) etc.	配付資料を使用する。
成績評価の方法 Manner of Assessment	受講態度, 小テスト, 提出物 (30%)、および期末試験 (70%) で総合的に判断する。

【授業の内容Contents】

- 日本人学生と留学生の共修授業

【授業計画Syllabus】

第 1 回	第一課 日本語教育の概要① (服部)
第 2 回	第二課 日本語教育の概要② (林)
第 3 回	第三課 日本語教授法：文字表記・語彙 (林)
第 4 回	第四課 日本語教授法：文法・文型 (松岡)
第 5 回	第五課 日本語教授法：音声 (福岡)
第 6 回	第六課 日本語教授法：会話 (服部)
第 7 回	第七課 日本語教育と評価 (服部)
第 8 回	第八課 日本の留学生施策および三重大学における留学生教育 (堀)
第 9 回	第九課 三重県の学校現場における日本語教育の現状と課題 (守田)
第 10 回	第十課 海外における日本語教育
第 11 回	第十一課 海外日本人学校および日本国内における留学生教育 (堀)
第 12 回	第十二課 三重県の学校現場における日本語教育の現状
第 13 回	第十三課
第 14 回	第十四課
第 15 回	第十五課
第 16 回	期末テスト

後期: Fall Semester

しよきゆうしゆうちゆう き そ き そ き そ こうき
初級集中基礎 I ・ 基礎 II ・ 基礎 III (後期)

Basic I & Basic II & Basic III(Fall Semester)

コース・コーディネータ：福岡 昌子

Course Coordinator: Fukuoka Masako

このコースを受けることができる人 **Qualifications:**

- ① 初級基礎 I は、はじめて日本語を勉強する人。
 - ② 初級基礎 II は、初級基礎 I のコースを修了した人、またはそれと同じくらいの日本語能力がある人。
 - ③ 初級基礎 III は、初級基礎 II のコースを修了した人、またはそれと同じくらいの日本語能力がある人。
- ① Basic I course is designed for students who study Japanese language for the first time.
 - ② Basic II course is designed for students who passed the Basic I course or equivalent.
 - ③ Basic III course is designed for students who passed the Basic I course or equivalent.

※中級 I 以上の人は初級基礎 II を、中級 II 以上の人は初級基礎 III を受けられません。

※ Students who are placed in Intermediate I or higher are not allowed to take Basic II course.
 Students who are placed in Intermediate II or higher are not allowed to take Basic III course.

コースの目標 **Objective:**

初級基礎 I : 日常生活に最低限必要な、初歩的な日本語能力をつけます。

初級基礎 II : 初級基礎 I が終わった後の基本的な日本語力をつけます。

初級基礎 III : 初級基礎 II が終わった後の基本的な日本語力をつけます。

Basic I: To learn minimum and basic Japanese for everyday life.

Basic II: To learn basic Japanese following Basic I.

Basic III: To learn basic Japanese following Basic II.

必修科目 **Required Classes:**

初級集中基礎 I Intensive Basic I

総合B	Total B	松岡(Matsuoka)	水 7・8 Wed. 7-8
-----	---------	--------------	----------------

文法B	Grammar B	太田(Oota)	月 3～6 Mon. 3-6
-----	-----------	----------	----------------

初級集中基礎 II Intensive Basic II

総合B	Total B	松岡(Matsuoka)	水 5～6 Wed. 5-6
-----	---------	--------------	----------------

文法B	Grammar B	伊藤(Ito)	木 5～8 Thu. 5-8
-----	-----------	---------	----------------

初級集中基礎 III Intensive Basic III

総合B	Total B	福岡(Fukuoka)	水 1・2 Wed. 1-2
-----	---------	-------------	----------------

文法B	Grammar B	仲渡(Nakato)	火 3・6 Tue. 3-6
-----	-----------	------------	----------------

せんたくか^{せんたくか}もく^{もく} **Elective Classes:**

しょきゅう^{しょきゅう}きそ^{きそ}がくせいたい^{がくせいたい}しゅう^{しゅう} **初級基礎 I・II の学生対象 (For Basic I & II):**

もじ^{もじ}ごい^{ごい} 文字・語彙 1 B Character and Vocabulary 1 B おおの^{おおの} (Oono) か^か 1・2 Tue. 1-2

しょきゅう^{しょきゅう}きそ^{きそ}がくせいたい^{がくせいたい}しゅう^{しゅう} **初級基礎IIIの学生対象 (For BasicIII):**

もじ^{もじ}ごい^{ごい} 文字・語彙 2 B Character and Vocabulary 2B ももせ^{ももせ} (Momose) げつ^{げつ} 1・2 Mon. 1-2

ちゅう^{ちゅう}きゅう^{きゅう} 中級へのステップ・アップクラス B

Step-up to Intermediate Class B おおの^{おおの} (Oono) きん^{きん} 3・4 Fri. 3-4

ちゅうきゅう こうき
中級 I (後期)

Intermediate I (Fall Semester)

コース・コーディネータ：福岡 昌子
Course Coordinator : Masako Fukuoka

このコースを受けることができる人 Qualifications:

I. 以下の①と②の両方に当てはまる人が受けることができます。

Students who can take this course should meet the requirements as follows.

① 日本語レベル判定試験で中級 I になった人。

Students who are placed in Intermediate I by the result of the Placement Test.

② 前の学期に初級基礎 II から進級した人。

Students who passed Basic II in the last semester.

※上級レベルの人は受けることができません。

Students in the Advanced Class are not allowed to take this course.

コースの目標 Objective:

初級の基礎力の上に、中級で必要な読解力および聴解力、文章表現力等をつけます。
4技能(読む、書く、聞く、話す)の総合的なレベルの向上を図り、中級 II、上級へとつなぎます。

In this course, students are to study intermediate level of comprehension, listening and composition based on basic level of Japanese. In addition, this course aims to enhance students four essential skills of reading, writing, listening and speaking, so that they will have enough ability for Intermediate II and advanced courses.

必修科目 Required Classes:

文法・読解 B◎	Grammar and Reading B◎	百瀬 (Momose)	月 3・4 Mon. 3-4
作文 B◎	Reading and Writing B◎	松岡 (Matsuoka)	木 3～4 Thu. 3-4
聴解 B	Listening Comprehension B	太田 (Oota)	月 7・8 Mon. 7-8
会話 B	Conversation B	大野 (Oono)	金 1・2 Fri. 1-2
文法 B	Grammar B	伊藤 (Ito)	水 7・8 Wed. 7-8

選択科目 Elective Classes :

文字・語彙 2B	Character and Vocabulary 2B	百瀬 (Momose)	月 1・2 Mon. 1-2
中級へのステップ・アップクラス B	Step-up to Intermediate Class B	大野 (Oono)	金 3・4 Fri. 3-4

(備考)

◎は学部正規生教養教育の単位認定科目です。詳しくは p を見て下さい。

(Note)

◎mark shows the subjects for the College of Liberal Arts and Sciences. Please refer to page 23.

ちゅうきゅう こうき
中級Ⅱ(後期)

Intermediate II (Fall Semester)

コース・コーディネータ：まつおか ちづこ
松岡 知津子

このコースを受けることができる人 **Qualifications:**

レベル判定試験で中級Ⅱに判定された人で、前の学期に中級Ⅰのコースの必修科目を4分の3以上合格した人。またはそれと同じくらいの日本語能力がある人。

コースの目標 **Objective:**

上級レベルに向けて、読解力、聴解力、会話力、文章表現能力をつけていきます。

必修科目 **Required Classes:**

ぶんぽう どっかい 文法・読解B◎	Grammar and Reading B◎	まつおか 松岡	もく 木	1・2
どっかい さくぶん 読解・作文B◎	Reading and Writing B◎	ふくおか 福岡	げつ 月	5・6
ちようかい かいわ 聴解・会話B◎	Listening and Conversation B◎	ふくおか 福岡	すい 水	5・6
かいわ 会話B◎	Conversation B◎	おおの 大野	か 火	3・4

選択科目 **Elective Classes in Intermediate II :**

じようきゅう 上級へのステップ・アップクラスB	Step-up to Advanced Class B	いとう 伊藤	もく 木	9・10
にほんじじょう 日本事情1B(三重の社会と文化)◎	Japanese Culture and Society 1B◎ (The Society and Culture of Mie)	しょうじ 正路	か 火	9・10

備考

◎は学部正規生教養教育の単位認定科目です。詳しくはp を見て下さい。

上級（後期）

Advanced (Fall Semester)

コース・コーディネータ：松岡 知津子

このコースを受けることができる人 **Qualifications:**

中級Ⅱのコースを修了した人、レベル判定試験で上級と判定された人、または日本語能力試験（JLPT）1級の合格証を提出した人。

コースの目標 **Objective:**

専門分野で研究を行うために必要な、高度な日本語力をつけます。

必修科目 **Required Classes:**

上級総合日本語 1 B ◎	Advanced Total Japanese 1B ◎	正路 木 7・8
上級総合日本語 2 B ◎	Advanced Total Japanese 2B ◎	松岡 水 9・10
上級総合日本語 3 B ◎	Advanced Total Japanese 3B ◎	福岡 月 7・8

選択科目 **Elective Classes in Advanced:**

<small>にほんじじょう</small> 日本事情1B(三重の社会と文化)◎	Japanese Culture and Society 1B◎	正路 火 9・10 (The Society and Culture of Mie)
日本事情 2 B(メディアと日本)◎	Japanese Culture and Society 2B◎	栗田 木 5・6 (Media and Japan)

(備考)

◎は学部正規生教養教育の単位認定科目です。詳しくは p を見て下さい。

★さらにレベルアップを目指したい人は、学部の授業を積極的に受けるようにしましょう。

必修科目 : Required Classes

~Fall Semester~

レベル Level	授業科目 Subject	
初級集中基礎 I B Intensive Basic I B	初級集中基礎 1 B Intensive Basic 1 B	
	担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
総合 B Total B	松岡 知津子 Matsuoka Chizuko	後期 火曜日 3・4 限 Spring, Tue3-4 periods
文法 B Grammar B	太田 慶子 Oota Keiko	後期 木曜日 1～4 限 Spring, Thu.1-4 periods
授業の目標 Objectives	1. 日本語の基礎を復習する。To review Japanese Basics 2. 基本的な日常会話ができるようになる。 To become able to have daily conversation.	
教科書など Textbook(s) etc.	『みんなの日本語 初級 I』（スリーエーネットワーク） オリジナル教材他、テキストは一部コピー配布。 Minna no Nihongo Basic I (Three A Network) Other than textbooks, original text will be used and some handouts will be given.	
成績評価の方法 Manner of Assessment	中間試験 (40%)、期末試験 (40%)、出席率 (10%)、授業参加 (宿題) (10%) Mid-term Exam (40%), Final Exam (40%), Attendance (10%), Class Participation (10%)	

【授業の内容 Contents】

- 日本語の基礎を復習して、「読む」「書く」「聞く」「話す」のレベルを上げる。
Review basic Japanese to improve “Reading”, “Writing”, “Listening” and “Speaking”.
- 場面に合わせて、基本的な日常会話ができるように練習する。
Practice dairy conversation in different situation.

【授業計画 Syllabus】

	Ohta	Matsuoka
1	Orientation, Character(Hiragana)	Character(Hiragana, Katakana)
2	L1,2	Review(L1, L2), Vocabulary L3
3	L3	Review(L3), Vocabulary L4
4	L4(2), Vocabulary of L5, L5(1)	L4(1)
5	L6	L5(2), Vocabulary(L6)
6	L7	Review(L6), Vocabulary L7
7	L8	Review(L7), Vocabulary L8
8	L9	Mid-term
9	L10	Feedback, Vocabulary L10
10	L11	Review(L10), Vocabulary L11
11	L12	Review(L11), Vocabulary L12
12	L13	Review(L12), Vocabulary L13
13	L14	Review(L13), Vocabulary L14
14	L15	Review(L14), Vocabulary L15
15	Review	Review
16	Final Examination	Final Exam

レベル Level	授業科目 Subject	
初級集中基礎ⅡB Intensive Basic ⅡB	初級集中基礎ⅡB Intensive Basic ⅡB	
	担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
総合B Total B	まつおか ちづこ Matsuoka Chizuko	後期 水曜日 5・6限 Fall, Wed 5-6 periods
文法B Grammar B	いとう はるな Haruna Ito	後期 木曜日 5～8限 Fall, Thu.5-8 periods
授業の目標 Objectives	1. 日本語の基礎を復習する。To review Japanese Basics 2. 基本的な日常会話ができるようになる。 To become able to have daily conversation.	
教科書など Textbook(s) etc.	『みんなの日本語 初級Ⅰ』（スリーエーネットワーク） オリジナル教材他、テキストは一部コピー配布。 Minna no Nihongo Basic I (Three A Network) Other than textbooks, original text will be used and some handouts will be given.	
成績評価の方法 Manner of Assessment	中間試験（40%）、期末試験（40%）、出席率（10%）、授業参加（宿題）（10%） Mid-term Exam (40%), Final Exam (40%), Attendance (10%), Class Participation (10%)	

【授業の内容 Contents】

- 日本語の基礎を復習して、「読む」「書く」「聞く」「話す」のレベルを上げる。
Review basic Japanese to improve “Reading”, “Writing”, “Listening” and “Speaking”.
- 場面に合わせて、基本的な日常会話ができるように練習する。
Practice dairy conversation in different situation.

【授業計画 Syllabus】

	Matsuoka	Ito
1	Review(L1~15), Vocabulary of L16	L16
2	Review(L16), Vocabulary of L17	L17
3	Review(L17), Vocabulary of L18	L18
4	Review(L18), Vocabulary of L19	L20 & 21
5	L19	L22
6	L19, Review(L20, 21), Vocabulary of L22	L23
7	Review(L22), Vocabulary of L23	L24
8	Review(L24), Vocabulary of L25	L25
9	Mid-term Examination	L26
10	Feedback of Mid-term Examination	L27
11	Review(L27), Vocabulary of L28	L28
12	Review(L28), Vocabulary of L29	L29
13	Review(L29), Vocabulary of L30	L30
14	Review(L30), Vocabulary of L31	L31
15	L33	L32
16	Final Examination	Review

レベル Level	授業科目 Subject	
初級集中基礎Ⅲ Intensive Basic III	初級集中基礎3B Intensive Basic 3B	
	担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
総合B Total B	福岡 昌子 Fukuoka Masako	後期 水曜日 1・2限 Fall, Wed. 1-2 periods
文法B Grammar B	中渡 理恵子 Nakato Rieko	後期 火曜日 3～6限 Fall, Tue. 3-6 periods
授業の目標 Objectives	1. 日本語の基礎を復習する。To review Japanese Basics 2. 基本的な日常会話ができるようになる。 To become able to have daily conversation.	
教科書など Textbook(s) etc.	『みんなの日本語 初級Ⅱ』（スリーエーネットワーク） オリジナル教材他、テキストは一部コピー配布。 Minna no Nihongo Basic II (Three A Network) Other than textbooks, original text will be used and some handouts will be given.	
成績評価の方法 Manner of Assessment	中間試験 (40%)、期末試験 (40%)、出席率 (10%)、授業参加 (宿題) (10%) Mid-term Exam (40%), Final Exam (40%), Attendance (10%), Class Participation (10%)	

【授業の内容 Contents】

- 日本語の基礎を復習して、「読む」「書く」「聞く」「話す」のレベルを上げる。
Review basic Japanese to improve “Reading”, “Writing”, “Listening” and “Speaking”.
- 場面に合わせて、基本的な日常会話ができるように練習する。
Practice dairy conversation in different situation.

【授業計画 Syllabus】

授業回数	授業内容 Lesson
第1回	オリエンテーション、*Orientation 第34課 Lesson 34
第2回	第35課 Lesson 35
第3回	第36課 Lesson 36
第4回	第37課 Lesson 37
第5回	第38課 Lesson 38
第6回	第39課 Lesson 39
第7回	第40課 Lesson 40
第8回	第41課 Lesson 41
第9回	中間試験、復習 Mid-term Exam & Review
第10回	第42課 Lesson 42
第11回	第43課 Lesson 43
第12回	第44課、第45課 Lesson 44、 Lesson 45
第13回	第46課 Lesson 46
第14回	第47課 Lesson 47
第15回	第48課 Lesson 48
第16回	期末試験、復習 Final Exam & Review

レベル Level	授業科目 Subject
中級 I Intermediate I	文法・読解 B Grammar and Reading B ◎教養教育単位認定科目 「中級 I 文法・読解 B」 ◎Recognition of Credit by CLAS. “Intermediate I/ Grammar and Reading B”
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
百瀬 みのり Momose Minori	後期 月曜日 3・4限 Fall, Mon. 3-4 periods
授業の目標 Objectives	<ol style="list-style-type: none"> 1. 初級の基礎力を定着させ、中級 I レベルの文法・読解力をつける。 2. テキストの表現文型を身につけ、運用力を高める。 3. 自分の意思を日本語で的確に相手に伝える力をつける。 <p>1.to have students acquire basic level Japanese proficiency and study immediate level grammar and comprehension.</p> <p>2.to learn and be able to use various sentences patterns to express themselves.</p> <p>3.to learn Japanese express to communicate accurately their own wishes.</p>
教科書など Textbook(s) etc.	『みんなの日本語 (中級 I 本冊)』(スリーエーネットワーク) Minna-no Nihongo(Intermediate I)(Therr A Net Work) Textbook should purchased.(This textbook will be also used in Fall Semester.)
成績評価の方法 Manner of Assessment	中間試験 (40%)、期末試験 (40%)、出席と授業参加 (20%) Mid-term Exam(40%), Final Exam(40%), Attendance and active participation(20%)

【授業の内容 Contents】

1. 新しい文法項目とことばを理解して、使えるように復習する。
1.to understand and practice new grammar contents and words.
2. 本文の内容をよく理解し、読解力を高める。
2.to understand passages well to improve comprehension.
3. 本文の内容をよく理解し、表現力を高める。
3.to understand passages well to improve impression.

【授業計画 Syllabus】

	学習する課・内容 Contents
第1週 The 1 st	前期の復習、第7課：文法 Spring Semester review , L7 Grammar
第2週 The 2 nd	第7課：読解 L 7 Reading Comprehension
第3週 The 3 rd	第8課：文法 L 8 Grammar
第4週 The 4 th	第8課：読解 L 8 Reading Comprehension
第5週 The 5 th	第9課：文法 L 9 Grammar

だい しゅう 第6週 The 6 th	だい か どっかい 第9課：読解 L9 Reading Comprehension
だい しゅう 第7週 The 7 th	だい か だい か 第7課～第9課のまとめ L7~L9 mid-term summary
だい しゅう 第8週 The 8 th	ちゅうかんしけん だい か だい か 中間試験 第7課～第9課 Mid-term Exam(L7 to L9)
だい しゅう 第9週 The 9 th	だい か ぶんぽう 第10課：文法 L10 Grammar
だい しゅう 第10週 The 10 th	だい か どっかい 第10課：読解 L10 Reading Comprehension
だい しゅう 第11週 The 11 th	だい か ぶんぽう 第11課：文法 L11 Grammar
だい しゅう 第12週 The 12 th	だい か どっかい 第11課：読解 L11 Reading Comprehension
だい しゅう 第13週 The 13 th	だい か ぶんぽう 第12課：文法 L12 Grammar
だい しゅう 第14週 The 14 th	だい か どっかい 第12課：読解 L12 Reading Comprehension
だい しゅう 第15週 The 15 th	だい か だい か 第10課～第12課のまとめ L10~L12 final summary
だい しゅう 第16週 The 16 th	きまつしけん だい か だい か 期末試験 第10課～第12課 Final Exam(L10 to L12)

レベル Level	授業科目 Subject
中級 I Intermediate I	作文 B Writing B ◎教養教育単位認定科目 「中級 I 作文B」 ◎Recognition of Credit by CLAS. “Intermediate I/Writing B”
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
松岡知津子 Chizuko Matsuoka	後期 木曜日 3・4限 Fall, Thu. 3-4 periods
授業の目標 Objectives	初級の基礎力を定着させ、決められたテーマについての作文が書けるようになる
教科書など Textbook(s) etc.	プリント
成績評価の方法 Manner of Assessment	中間試験 (40%)、期末試験 (40%)、出席と授業参加 (20%) Mid-term Exam (40%), Final Exam (40%), Attendance and active participation (20%)

【授業の内容 Contents】

新しい文法項目とことばを理解して、あるトピックについて書く練習をする。

【授業計画 Syllabus】

	学習する課・内容 Contents
第1週 The 1 st	オリエンテーション、Basic II の復習 Orientation Meeting, Review of Basic II
第2週 The 2 nd	「①紹介する」 Introducing yourself, family, university
第3週 The 3 rd	「②家族について」 About your family
第4週 The 4 th	「③日本の住まいについて」 About your house in Japan
第5週 The 5 th	「④笑い話について」 About funny stories
第6週 The 6 th	「⑤お正月について」 About new year
第7週 The 7 th	「⑥まとめ」 Review
第8週 The 8 th	中間試験 (①～⑥) Mid-term(① to ⑥)
第9週 The 9 th	「⑦<である体>で書く」 Writing in plain form
第10週 The 10 th	「⑧グラフについて」 About graph
第11週 The 11 th	「⑨予定について」 About plan
第12週 The 12 th	「⑩比べる」 Comparing things
第13週 The 13 th	「⑪世界遺産について」 About world heritages
第14週 The 14 th	「⑫まとめ」 Review
第15週 The 15 th	期末試験 (⑦～⑫) Final Exam (⑦ to ⑫)
第16週 The 16 th	「フィードバック」 Feedback

1	レベル Level	授業科目 Subject
中級 I	Intermediate I	文法 (後期のみ) Grammar (Only Fall Semester)
担当教官 Instructor(s)		開講時間 Schedule
伊藤 晴苗 Haruna Ito		後期 水曜日 7 - 8 限目 Fall, Wed. 7-8 periods
授業の目標 Objectives	1. 中級レベルの文型の意味や用法を機能別に学習し、理解する 2. 学習した項目を文章や談話の中で適切に表現できるようにする	
教科書など Textbook(s) etc.	『どんなときどう使う日本語表現文型500』 (アルク)	
成績評価の方法 Manner of Assessment	復習クイズ (40%)、期末テスト (60%)	

【授業の内容 Contents】

1. 例文で文型の意味や用法を確認し、練習問題に解答して理解を深める
2. 文脈の中で適切に使えるように、短文作文練習や会話練習を行う
3. 毎回の授業の理解度を確認するために、前回授業の復習クイズを実施する

【授業計画 Syllabus】

第1回	オリエンテーション 第1課
第2回	第2課
第3回	第3課
第4回	第4課
第5回	第5課
第6回	第6課
第7回	第7課
第8回	第8課
第9回	第9課
第10回	第10課
第11回	第11課
第12回	第12課
第13回	第13課
第14回	第14課
第15回	第15課
第16回	期末試験 (第1課~第15課)

レベル Level	授業科目 Subject
中級 I Intermediate I	会話 B Conversation B
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
大野 陽子 Yoko Oono	後期 金曜日 1・2限 Fall, Fri. 1-2 periods
授業の目標 Objectives	<p>1. テーマに沿ったスピーチができるようになる。</p> <p>2. 聞き手にとってわかりやすい話し方ができるようになる。</p> <p>3. 段落の作り方、接続詞や接続助詞の使い方、スピーチの構成について学ぶ。</p> <p>1. To be able to make speeches on given themes.</p> <p>2. To be able to speak clearly for listeners.</p> <p>3. To learn how to use conjunctions and conjunctive particles as well as the structures of speeches.</p>
教科書など Textbook(s) etc.	<p>教材はコピー配布。授業中の発表を録音して、教材として使うことがあります。</p> <p>Handouts will be given: Speeches and conversation in the class maybe recorded and used for study materials.</p>
成績評価の方法 Manner of Assessment	<p>授業中の発表 (30%)、中間試験 (30%)、期末試験 (40%) 合計が 60%以上で合格です。</p> <p>出席率は 66.7%以上なければなりません。</p> <p>Presentation (30%), Mid-term Exam (30%), Final Exam (40%) and students are required to attend 2/3 of the classes.</p>

【授業の内容 Contents】

- シャドーイングなどで、日本語の発音の練習をします。
- テーマに沿って、まとまった内容の話ができるように練習します。
 - To practice pronunciation with Shadowing technique.
 - To practice speeches on different themes.

【授業計画 Syllabus】内容は授業の状況によって変更する場合があります。

- 第1回～第6回：自己紹介、〇〇のきっかけ、わたしのおすすめ など
- 第7回： 中間試験 (紙の試験ではなく、話す試験です)
- 第8回～第15回：町の様子、スポーツのおもしろさ、〇〇のいいところ・わるいところ など
- 第16回： 期末試験 (紙の試験ではなく、話す試験です)

Contents of classes may be subject to change according to the progress.

- L1-L6: Self-introduction, reasons to start something, my recommendation and etc.
- L7: Mid-term Exam (Speaking Test)
- L8-L15: About cities, interest of sports, advantages and disadvantages of something etc.
- L16: Final Exam (Speaking Test)

レベル Level	授業科目 Subject
中級I Intermediate I	聴解B Listening Comprehension B
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
太田 慶子 Keiko Oota	後期 月曜日7・8限 Fall Mon 7-8 periods
授業の目標 Objectives	<p>1. 日本語の会話や講義などを正確に理解できるようになる。To be able to accurately understand Japanese conversations and lectures</p> <p>2. 日本語の会話に参加できるようになる。To be able to participate in conversations in Japanese</p> <p>3. 幅広いトピックから語彙、表現を増やす。To increase vocabulary through wide variety of topics</p>
教科書など Textbook(s) etc.	<p>プリントにて配布。Handouts will be given.</p> <p>『日本語生中継 初中級編 I』(くろしお出版) Nihongo nama chukei: Elementary and intermediate I (Kuroshio Publisher)</p> <p>『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ』(スリーエーネットワーク) Ryugakusei no tame no academic Japanese (3 A Corporation) その他 etc.</p>
成績評価の方法 Manner of Assessment	<p>出席 attendance (15%)、小テスト mini-tests (15%)、 中間試験 mid-term exam (30%)、期末試験 final exam (40%)</p>

【授業の内容 Contents】

1. 新しい語彙、表現を学習する。To learn new vocabulary and expressions
2. CDを聞いて問題を解く。To listen to CD and answer questions
3. 会話を練習する。To practice conversation

【授業計画 Syllabus】

第1回 Week1	授業説明 introduction 『日本語生中継』第1課 Nihongo nama chukei, L.1
第2回 Week2	『日本語生中継』第1課 Nihongo nama chukei, L.1
第3回 Week3	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ』第2課
第4回 Week4	『日本語生中継』第3課
第5回 Week5	『日本語生中継』第3課
第6回 Week6	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ』第6課
第7回 Week7	『日本語生中継』第5課
第8回 Week8	中間試験 mid-term exam
第9回 Week9	『日本語生中継』第5課
第10回 Week10	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ』第8課
第11回 Week11	『日本語生中継』第7課
第12回 Week12	『日本語生中継』第7課
第13回 Week13	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ』第10課
第14回 Week14	『日本語生中継』第9課 Nihongo nama chukei, L.9
第15回 Week15	『日本語生中継』第9課 Nihongo nama chukei, L.9
第16回 Week16	期末試験 final exam

レベル Level	授業科目 Subject
中級 II Intermediate II	文法・読解 B Grammar and Reading B ◎教養教育単位認定科目 「中級 II 文法・読解 B」 ◎Recognition of Credit by CLAS. “Intermediate II /Reading and Writing B”
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
まつおか ちづこ 松岡 知津子 Chizuko Matsuoka	後期 木曜日 1・2限 Fall, Thu. 1-2periods
授業の目標 Objectives	1. 日本語、日本社会等多様なテーマに関する文法や語彙・表現を理解し、まとまった文章を読めるようになること。 2. 読んだ文について、自分の意見を表せるようになること。
教科書など Textbook(s) etc.	上級学習者のための日本語読解ワークブック（アルク）、補助プリント
成績評価の方法 Manner of Assessment	中間試験（40%）、期末試験（40%）出席率および授業態度(20%)

【授業の内容 Contents】

読解に必要な文法の学習と、日本についてのさまざまなテーマの文章を読み、理解し、自分の意見を文章で表す。

【授業計画 Syllabus】

	授業の内容
第 1 回	授業の説明、内容の紹介、作文の仕方
第 2 回	3. 方言の見直し(1)
第 3 回	3. 方言の見直し(2)
第 4 回	9. 「べた靴」現象とひきこもり(1)
第 5 回	9. 「べた靴」現象とひきこもり(2)
第 6 回	16. 日本人の行動パターン
第 7 回	16. 日本人の行動パターン(2)
第 8 回	中間テスト
第 9 回	23. コミュニケーション下手の日本人
第 10 回	23. コミュニケーション下手の日本人(2)
第 11 回	34. 学ぶ喜び
第 12 回	34. 学ぶ喜び(2)
第 13 回	38. メディアの虚実
第 14 回	38. メディアの虚実(2)
第 15 回	期末テスト
第 16 回	期末テストフィードバック

レベル Level	授業科目 Subject
中級II Intermediate II	読解・作文 B Reading and Writing B ◎教養教育単位認定科目 「中級II読解 B」 ◎Recognition of Credit by CLAS. “Intermediate II /Reading and Writing B”
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
福岡 昌子 Masako Fukuoka	後期 月曜日 5・6限 Fall, Mon. 5-6periods
授業の目標 Objectives	1. 日本語の論文やレポート、日常の文章などを、自然な日本語で書くことを目指す。 2. 文章表現の基礎を作り、日本語の文章力を高める。
教科書など Textbook(s) etc.	テキスト『留学生のためのここが大切、文章表現のルール』スリーエーネットワーク、一部をコピーして配布する。
成績評価の方法 Manner of Assessment	中間試験 (40%)、期末試験 (40%)、出席率 (20%)

【授業の内容 Contents】

- 文法・文型、文字・標記、語彙・意味、文章・談話について、どこが間違っているのか見つけて、正しく直す練習を行う。
- 文章表現の基礎を作り、日本語の文章力を高めていく練習をする。

【授業計画 Syllabus】

第1回	オリエンテーション	1	助詞の使い方
第2回		2	言葉の形の使い分け
第3回		3	自動詞・他動詞・受身
第4回	〃	4	呼応
第5回	〃	5	文末表現の調整
第6回	〃	6	ひらがなと漢字のバランス
第7回	〃	7	漢字の選択と誤変換、カタカナの使い方
第8回	〃	8	読点の打ち方
第9回	中間試験		
第10回		9	書き言葉らしさ
第11回	〃	10	辞書の危険性
第12回	〃	11	専門用語の選び方
第13回	〃	12	文の長さど読みやすさ
第14回	〃	13	指示詞による文の接続
第15回	〃	14	接続詞と文章の構成、読み手への配慮
第16回	期末試験		

レベル Level	授業科目 Subject
中級Ⅱ Intermediate Course II	聴解・会話B Listening and Conversation B ◎教養教育単位認定科目 「中級Ⅱ聴解会話B」 ◎Recognition of Credit by CLAS. “Intermediate Course II/Listening and Conversation B”
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
福岡 昌子 Masako Fukuoka	後期 水曜日 5・6限 Fall, Wed. 5-6 periods
授業の目標 Objectives	1. アニメ・映画・ドラマなどを通して、会話の全体把握、詳細な部分の聞き取りができるようになり、日本語の聴解力を高める。 2. アクセント、イントネーション、スピードなどの音声表現や会話の技術を学び、日本語の会話力を高める。 3. アニメ・映画・ドラマなどを通して、日本の文化や習慣を知る。
教科書など Textbook(s) etc.	教材は適宜配布する。
成績評価の方法 Manner of Assessment	課題 (40%)、期末試験 (50%)、出席率 (10%)

【授業の内容 Contents】

1. アニメ・映画・ドラマの一部を見て、日本語の話し言葉の速度に慣れ、聴解力を高める。
2. アニメ・映画・ドラマなどから好きな場面（2～3分間）を選んで、新出語彙を調べ、文字化し、適宜空欄を作り、他グループに2度聞かせる。選んだ作品等の説明や感想も述べる。
3. 聴解練習や会話練習を通して、日本語の話し言葉としての音声表現や会話の技術を学ぶ。

【授業計画 Syllabus】

回	授業の内容
第1回	オリエンテーション、課題の説明、ドラマ・アニメーション教材例1.
第2回	ドラマ・アニメーション教材例2.
第3回	ドラマ・アニメーション教材例3.
第4回	発表課題1
第5回	発表課題2
第6回	発表課題3
第7回	発表課題4
第8回	発表課題5
第9回	発表課題6
第10回	発表課題7
第11回	発表課題8
第12回	発表課題9
第13回	発表課題10
第14回	発表課題11
第15回	期末試験
第16回	試験のフィードバック

レベル Level	授業科目 Subject
中級 II Intermediate 2	会話 Conversation
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
大野 陽子 Yoko Oono	後期 火曜日 3・4限 Fall, Tue. 3-4 periods
授業の目標 Objectives	日本語でディスカッションができるようになる。 日本語で意見や理由をわかりやすく言えるようになる。
教科書など Textbook(s) etc.	プリント配布 Handouts will be given
成績評価の方法 Manner of Assessment	グループディスカッション (20%)、ミニツツペーパー (20%)、グループワーク (20%)、口頭発表 (40%)。 出席率は66.7%以上必要です。 group discussion (20%), minute paper (20%), group work (20%), presentation (40%). need to attend two-thirds or more.

【授業の内容 Contents】

1. 語彙や表現を学びます。 Studying vocabulary and expression.
2. 意見や理由の伝え方を学びます。 Studying how to convey your opinion and reason effectively.

【授業計画 Syllabus】

回 Lesson	学習内容 Contents
第1回	オリエンテーション、ことば、表現 Orientation, vocabulary and expression
第2回	ディスカッション discussion
第3回	ことば、表現 vocabulary and expression
第4回	ディスカッション discussion
第5回	ことば、表現 vocabulary and expression
第6回	ディスカッション discussion
第7回	ことば、表現 vocabulary and expression
第8回	ディスカッション discussion
第9回	ことば、表現 vocabulary and expression
第10回	ディスカッション discussion
第11回	ことば、表現 vocabulary and expression
第12回	ディスカッション discussion
第13回	グループワーク 発表テーマ決め、発表準備 preparation for presentation
第14回	グループワーク 発表準備 preparation for presentation
第15回	グループワーク 発表準備 preparation for presentation
第16回	口頭発表 presentation

レベル Level	授業科目 Subject
上級 Advanced	上級総合日本語 1 B Advanced Comprehensive Japanese 1 B ◎教養教育単位認定科目 「上級総合日本語 1 B」 ◎Recognition of Credit by CLAS. “Advanced Comprehensive Japanese 1B”
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
正路 真一 Shinichi Shoji	後期 木曜日 7・8 限 Fall, Thu. 7-8 periods
授業の目標 Objectives	1. 自分で選んだテーマについて、資料を収集し、それらを基に論を構成し、レポートが作成できるようにする。 2. 研究内容について、パワーポイントにまとめ、口頭で発表できるようにする。
教科書など Textbook(s) etc.	教材はコピー配布
成績評価の方法 Manner of Assessment	出席率 (20%)、課題の提出(10%)、口頭発表 (35%)、レポート (35%)

【授業の内容 Contents】

1. テーマの決定、資料・情報の収集、アウトラインの作成と修正、レポート作成という基本的なステップで、レポートにまとめる。
2. 口頭発表では、パワーポイントで発表内容をまとめ、発表の練習、話し手と聞き手による発表の評価を行なう。

【授業計画 Syllabus】

回	授業の内容
第 1 回	研究発表とは (口頭発表・レポートの基本的ステップ)
第 2 回	資料収集(文献目録・記事検索、データベースの利用) 於: 図書館
第 3 回	テーマの発表会、資料収集経過報告会
第 4 回	仮アウトラインの作成
第 5 回	レポートの執筆① (形式、序論)
第 6 回	レポートの執筆② (本論、結論)
第 7 回	レポートの執筆③ (本論、結論)
第 8 回	レポートの執筆⑤ (引用、注、参考文献)
第 9 回	レポートの執筆⑥ (図表の扱い、文体)
第 10 回	レポートの執筆⑦ (推敲、調整)
第 11 回	口頭発表の準備 パワーポイントの作成
第 12 回	本論・結論の検討
第 13 回	本論・結論の検討
第 14 回	口頭発表①
第 15 回	口頭発表②
第 16 回	レポートの提出、まとめ

レベル Level	授業科目 Subject
上級 Advanced	上級総合日本語2B (留学生と学ぶ日本) ◎教養教育単位認定科目 Advanced Comprehensive Japanese 2B 「上級総合日本語2B」 ◎Recognition of Credit by CLAS. “Advanced Comprehensive Japanese 2B”
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
松岡 知津子 Chizuko Matsuoka	後期 水曜日9・10限 Fall, Wed. 9-10 periods
授業の目標 Objectives	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで自分の意見や疑問等を発言することに自信がもてるようになる ・日本の文化や社会について、多様な見方、考え方があることを理解する ・討論の楽しさや大切さを知り、意欲的になる
教科書など Textbook(s) etc.	なし
成績評価の方法 Manner of Assessment	出席 10%、討論への参加 20%、中間レポート 30%、最終レポート 40%

【授業の内容 Contents】

1. ディスカッションのトピックの選び方、注意点を学ぶ。
2. 学生一人一人が座長になり、中心となってあるテーマについてのディスカッションをする
3. ディスカッションの内容に基づいてレポートを作成する。

【授業計画 Syllabus】

第1回～第4回 雑談と討論の違い、座長の役割、トピックの選択、ディスカッションの注意点
 第5回以降は、学生が選んだトピックについて、座長を中心に討論を行う

これまでの受講生が提案したトピック(参考例)：

日本人のコミュニケーション・スタイル、日本人の曖昧性、日本人の人間関係、日本は住みやすい国か、留学生が見た日本、家族とは何か、フリーター、ニート、歴史認識、戦争責任、歴史教育、愛国心、日本の憲法第9条、自衛隊は違憲？日本の国際協力、日本の食文化、日本製アニメの面白さ、若者の悩みと楽しみ、日本の英語教育、海外留学：そのメリットとデメリット、日本の子供教育(学校教育、家庭でのしつけ、習い事、社会教育)、高齢化社会への対応、少子化問題、社会福祉のあり方、幸せとは何か など

留学生と日本人学生が共に日本の社会や文化について学び討論する。互いに異文化の視点を尊重し、日本人学生は自文化を留学生に説明し、留学生は日本文化について、それぞれの文化との比較の視点を提供する。

レベル Level	授業科目 Subject
上級 Advanced	上級総合日本語 3 B Advanced Total Japanese 3 B ◎共通教育単位認定科目 「上級総合日本語 3 B」
担当教官 Instructor(s)	開講時間 Schedule
ふくおか まさこ 福岡 昌子 Masako FUKUOKA	後期 月曜日 7 - 8 限 Fall, Mon. 7-8 periods
授業の目標 Objectives	1. 将来、日本語を使って仕事をし、日本企業へ就職することも考えている留学生のために、面接方法、電話応対、履歴書や文書の書き方、ビジネスマナーを学ぶ。 2. 就職活動に必要な知識と心構え、自己分析、業界・企業・職種研究について学ぶ。
教科書など Textbook(s) etc.	『留学生のための就職活動 HANDBOOK』（株クオリティ・オブ・ライフ） 『留学生のための自己分析・企業研究 WORKBOOK』（同）、他
成績評価の方法 Manner of Assessment	出席率 ^{しゅつせきりつ} （10%）、課題(①～④)（40%）、レポート（50%）

【授業の内容 Contents】

1. 自己分析からスタートし、業界・職種研究など、就職活動に関わる知識や心構えを学ぶ。
2. 電話応対、ビジネス文書、ビジネスマナーの教材を通して、仕事で使う日本語を知る。
3. SPI 試験や集団面接を体験してみる。
4. 先輩の就職活動の体験を聞いたり、企業を訪問したりして、日本での仕事の実態を知る。

【授業計画 Syllabus】

第 1 回	オリエンテーション 就職活動に関わる知識や心構え
第 2 回	先輩の就職活動の体験を聞く（予定）
第 3 回	就職活動の心構えと自己分析について（1）
第 4 回	就職活動の心構えと自己分析について（2）自己分析と発表 課題①
第 5 回	ビジネス会話（電話）について（1）
第 6 回	ビジネス会話（電話）について（2） 課題②
第 7 回	ビジネスマナーについて
第 8 回	業界・企業・職種研究について（1）
第 9 回	業界・企業・職種研究について（2）（自己分析と発表）
第 10 回	ビジネス文書について 課題③
第 11 回	エントリーシート対策 履歴書の書き方 課題④
第 12 回	SPI 試験について
第 13 回	面接対策（1）
第 14 回	面接対策（2）—集団面接の体験—
第 15 回	実践活動 —企業訪問（予定）—
第 16 回	レポート提出

コース Course	授業科目 Subject
日本語・日本文化研修 The Japanese Language and Culture Studies	日本語・日本文化演習 B Japanese & Culture Seminar B
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
福岡 昌子 Masako Fukuoka 松岡 知津子 Chizuko Matsuoka 栗田 聡子 Satoko Kurita 正路 真一 Shinichi Shoji	各指導教員の指示による TBA by advisors
授業の目標 Objectives	<ul style="list-style-type: none"> 研究を実施し、研究内容を「研究論文」としてまとめ、また口頭発表する力をつける。 To acquire the ability to conduct research, write a research paper, and do oral presentations. 地域文化活動に参加し、活動内容を「実践活動報告」としてまとめ、また口頭発表する力をつける。 To participate in regional cultural activities, and to acquire the ability to write report(s) of the activities and do oral presentations.
教科書など Textbook(s) etc.	指導教員の指示による。 Instructions by the Academic Advisors
成績評価の方法 Manner of Assessment	指導教員の評定基準による。 Grading Standards of the Academic Advisors

【授業の内容】

この授業は、日本語・日本文化研修留学生のための授業科目です。それぞれの指導教員の指導に基づき、計画を立て、それに沿って研究の実施または地域文化活動への参加を進めます。「研究論文」または「実践活動報告」の作成、および二度の口頭発表(中間発表会、成果発表会)に向けて、準備を進めます。「研究論文」または「実践活動報告」に関する予定については、この冊子の「3. 受講者別履修案内」の「2. 日本語・日本文化研修留学生」の説明を参照してください。

This course is for the Japanese Studies Students. The students are to conduct their studies in accordance with their academic advisor's advices. They are required to write research papers or activity reports and make oral presentations as the Mid-term exam and the Final exam.

For more information, refer to the pages of "2. Japanese Studies Students (2019 Students)" in "3. Guidelines according to Student Categories" in this Course Guide.

選択科目 : Elective Classes
～Fall Semester～

せんたくか もく こうき
選択科目(後期)

Electives (Fall Semester)

コース・コーディネータ：松岡 知津子
Course Coordinator : Chizuko Matsuoka

コースの目標 Objective :

- ・自分の日本語レベルやニーズに合わせて、日本語を勉強します。
- ・わからないときは、コース・コーディネーターに相談してください。
- ・ In this course, students are to study Japanese based on their own levels and needs.
- ・ If you have any questions, please contact the course coordinator.

科目とクラスを受けることができる人 Classes & Qualifications :

初級基礎 I の学生対象 (For Basic I):

文字・語彙 1 B Character and Vocabulary 1B 大野 (Oono) 月 1・2 Mon. 1-2

初級基礎 II, III の学生対象 (For Basic II & Intermediate I):

文字・語彙 1 B Character and Vocabulary 1B 大野 (Oono) 月 1・2 Mon. 1-2

中級へのステップ・アップクラス B 大野 (Oono) 金 3・4 Fri. 3-4

Step-up to Intermediate Class B

中級 I の学生対象 (For Intermediate I):

中級へのステップ・アップクラス B 大野 (Oono) 金 3・4 Fri. 3-4

Step-up to Intermediate Class B

中級 II の学生対象 (For Intermediate II & Advanced):

上級へのステップ・アップクラス B

Step-up to Advanced Class B 伊藤 (Ito) 木 9・10 Thu. 9-10

日本事情1B◎ Japanese Culture and Society 1B ◎ 正路 (Shoji) 火 9・10 Tue. 9-10

上級の学生対象 (Elective Classes for Intermediate II & Advanced) :

上級へのステップ・アップクラス B

Step-up to Advanced Class B 伊藤 (Ito) 木 9・10 Thu. 9-10

日本事情1B◎ Japanese Culture and Society 1B ◎ 正路 (Shoji) 火 9・10 Tue. 9-10

にほんじじょう
日本事情2◎ Japanese Culture and Society 2 ◎ 栗田 (Kurita) 木 5・6 Thu. 5-6
(メディアと日本) (Media and Japan)

(備考)

◎は学部正規生教養教育の単位認定科目です。詳しくは p23 を見て下さい。

(Note)

◎mark shows the subjects for the College of Liberal Arts and Sciences. Please refer to page 23.

レベル Level	授業科目 Subject
選択科目 Electives	文字・語彙 1 B Character and Vocabulary 1B
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
大野 陽子 Yoko Oono	後期 月曜日 1・2限 Fall, Mon. 1-2 periods
授業の目標 Objectives	初級のことばや漢字を勉強して、つかえるようにする To be able to use basic vocabulary and kanji-chinese characters.
教科書など Textbook(s) etc.	プリント配布 Handouts will be given
成績評価の方法 Manner of Assessment	宿題 (20%)、中間試験 (40%)、期末試験 (40%)。 出席率は66.7%以上必要です。 Homework assignment (20%), mid-term examination (40%), final examination (40%), need to attend two-thirds or more.

【授業の内容 Contents】

1. 初級のことばを勉強します。 Studying basic vocabulary.
2. 漢字の読み方、書き方を勉強します。 Studying how to read and write kanji.

【授業計画 Syllabus】

回 Lesson	学習内容 Contents
第1回	オリエンテーション、ひらがなとカタカナの練習 L1 Orientation, Practice for Hiragana and Katakana
第2回	ひらがなとカタカナのことば (1) L2 Vocabulary in Hiragana and Katakana (1)
第3回	漢字・ひらがなとカタカナのことば (2) L3 Vocabulary in Kanji, Hiragana and Katakana (2)
第4回	漢字・ひらがなとカタカナのことば (3) L4 Vocabulary in Kanji, Hiragana and Katakana (3)
第5回	漢字・ひらがなとカタカナのことば (4) L5 Vocabulary in Kanji, Hiragana and Katakana (4)
第6回	漢字・ひらがなとカタカナのことば (5) L6 Vocabulary in Kanji, Hiragana and Katakana (5)
第7回	漢字・ひらがなとカタカナのことば (6) L7 Vocabulary in Kanji, Hiragana and Katakana (6)
第8回	中間テスト (1～6) L8 Mid-term exam (1-6)
第9回	中間テストフィードバック、漢字・ひらがなとカタカナのことば (7) L9 Feed-back for mid-term exam, Vocabulary in Kanji, Hiragana and Katakana (7)
第10回	漢字・ひらがなとカタカナのことば (8) L10 Vocabulary in Kanji, Hiragana and Katakana (8)
第11回	漢字・ひらがなとカタカナのことば (9) L11 Vocabulary in Kanji, Hiragana and Katakana (9)
第12回	漢字・ひらがなとカタカナのことば (10) L12 Vocabulary in Kanji, Hiragana and Katakana (10)
第13回	漢字・ひらがなとカタカナのことば (11) L13 Vocabulary in Kanji, Hiragana and Katakana (11)
第14回	漢字・ひらがなとカタカナのことば (12) L14 Vocabulary in Kanji, Hiragana and Katakana (12)
第15回	期末テスト (7～12) L15 Final exam (7-12)
第16回	期末テストのフィードバック、まとめ L16 Feed-back for mid-term exam, Summary

レベル Level	授業科目 Subject
選択科目 Electives	文字・語彙 2B Character and Vocabulary 2B
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
百瀬 みのり Minori Momose	後期 月曜日 1・2限 Fall, Mon. 1-2 periods
授業の目標 Objectives	1. 日本語の基礎的な文字・語彙について読み書きする能力をつける。 2. 各自の専門科目で必要な文字・語彙について読み書きする能力をつける。 1.to learn basic Japanese literacy. 2.to learn necessary Japanese literacy for each major subject.
教科書など Textbook(s) etc.	『新版 BASIC KANJI BOOK —基本漢字500— vol.1』(凡人社) Sinpan BASIC KANJI BOOK —BASIC KANJI 500— vol.1 (BONJINSHA CO., LTD.) Textbook should be purchased.(This textbook will be also used in Fall Semester.)
成績評価の方法 Manner of Assessment	中間試験 (40%)、期末試験 (40%)、出席と授業参加 (20%) Mid-term Exam(40%), Final Exam(40%), Attendance and active participation(20%)

【授業の内容 Contents】

- 基本的な日本語の文字・語彙について実際に読む・書く機会をつくる。
1. to learn basic Japanese Kanji, words, vocabulary.
- 専門科目で必要な文字・語彙を読む・書く機会を作り、日本語能力を高める。
2. to learn necessary Japanese Kanji, words, vocabulary for each major subject for improving their ability.

【授業計画 Syllabus】

回 Lesson	学習内容 Contents
第1回 第12課～第16課の復習。	The 1st Review (L12~L16)
第2回 第17課 動詞の漢字-2- 移動をあらわす漢字。	The 2nd Verbs-2- Movement
第3回 第17課 動詞の漢字-2- 移動をあらわす漢字の復習。道路標識。	The 3rd Review verbs-2- Movement, Road Signs
第4回 第18課 位置をあらわす漢字。	The 4th Spatial Positions
第5回 第18課 位置をあらわす漢字の復習。部屋探し。	The 5th Review Spatial Positions, Room for Rent
第6回 第19課 接辞の漢字-1-。	The 6th Prefixes and Suffixes-1-
第7回 第19課 接辞の漢字-1-の復習。地図と記号。第17課～第19課のまとめ。	The 7th Review Prefixes and Suffixes-1-, Reading a Map, Review(L17~L19)

第8回 中間試験 第17課～第19課。

The 8th Mid-term Exam(L17 to L19)

第9回 第20課 行政区分をあらわす漢字。

The 9th Administrative Divisions

第10回 第20課 行政区分をあらわす漢字の復習。

The 10th Review Administrative Divisions

第11回 復習 第17課～第20課。

The 11th Review lesson17 to 20

第12回 復習 第17課～第20課を踏まえて既習漢字を使った語彙増強。語構成1。

The 12th Review lesson17to20,Japanese vocabulary buildup program,Japanese Composition 1

第13回 第21課 動詞の漢字-3- -する動詞。

The 13th Verbs-3- SURU Verbs

第14回 第21課 動詞の漢字-3- -する動詞の復習。部首ゲーム3。

The 14th Review Verbs-3- SURU Verbs , Radical game3

第15回 漢語-1-。書店で見る漢字。

The 15th Kanji Compounds-1-, At the Bookstore

第16回 期末試験 第20課～第22課。

The 16th Final Exam (L20 to L22)

レベル Level	授業科目 Subject
選択科目 Electives	中級へのステップ・アップクラスB Step-up to Intermediate Class B
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
大野 陽子 Yoko Oono	後期 金曜日 3・4限 Fall, Fri. 3-4 periods
授業の目標 Objectives	日本語能力試験 (N3) の文法・語彙・読解・聴解ができるようになる。 To learn grammar, vocabulary, reading and listening for the Level 3 of the Japanese Proficiency Test.
教科書など Textbook(s) etc.	教材はコピー配布。 Handouts will be given.
成績評価の方法 Manner of Assessment	授業中の参加度 (10%)、課題 (20%)、中間試験 (30%)、期末試験 (40%)。 出席率は66.7%以上なければなりません。 Class participation (10%), homework assignment (20%) mid-term exam (30%), final exam (40%), need to attend two-thirds or more.

【授業の内容 Contents】

- 初級で習った文法の復習をしながら、日本語能力試験N4～N3レベルの文法・語彙・聴解の学習をします。
- While reviewing grammar in the basic classes, students are to learn grammar, vocabulary, and listening for the Level 4 and 3 of the Japanese Proficiency Test.

【授業計画 Syllabus】内容は授業の状況によって変更する場合があります。

- 第1回～第7回 : 文法・語彙・読解・聴解
 第8回 : 中間試験
 第9回～第15回 : 文法・語彙・読解・聴解
 第16回 : 期末試験

Contents of classes may be subject to change according to the progress.

- L1~L7 : Grammar, Vocabulary, Reading, and Listening
 L8 : mid-term exam
 L9~L15 : Grammar, Vocabulary, Reading and Listening
 L16 : final exam

レベル Level	授業科目 Subject
選択科目 Electives	上級へのステップ・アップクラス B Step-up to Advanced Class B
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
伊藤 晴苗 Haruna Ito	後期 木曜日9・10限 Spring, Thu. 9-10 periods
授業の目標 Objectives	日本語能力を総合的に中級から上級レベルに引き上げる。
教科書など Textbook(s) etc.	『新・中級から上級への日本語』(The Japan Times) 教科書は各自購入すること。
成績評価の方法 Manner of Assessment	出席 attendance (10%)、小テスト mini-tests (20%)、 中間試験 mid-term exam (30%)、期末試験 final exam (40%)

【授業の内容 Contents】

- 1) 「読み教材」の内容を理解し、自分の意見を述べる。
- 2) 表現、文法、語彙を学び、定着と応用を図る。
- 3) 内容についてクラスで話し合ったり、記述してまとめたりする。

【授業計画 Syllabus】

	授業の内容
第1回	授業の説明、第6課 読解「働くということ」
第2回	第6課 文法
第3回	第6課 文法
第4回	第7課 読解「日本語の多様性」
第5回	第7課 文法
第6回	第8課 読解「環境のためにできること」
第7回	第8課 文法
第8回	中間試験
第9回	日本語能力試験対策
第10回	日本語能力試験対策
第11回	第9課 読解「食の共同性」
第12回	第9課 文法
第13回	第10課 読解「笑いのちから」
第14回	第10課 文法
第15回	まとめ
第16回	期末試験

授業形態 (言語) Type (Language)	科目名 Subject	
講義 (日本語) Lecture in Japanese	三重の社会と文化B	The Society and Culture of Mie B ★国際交流センター日本語教育科目 「三重学」
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule	
正路 真一 Shinichi Shoji	後期 火曜日 9・10限 Spring, Tue. 9-10 periods	
授業の目標 Objectives	三重の社会と文化を理解し、これについて考え、意見を提言することができるようになる。(The objective of the class is to understand the society and culture of Mie, to think about them, and to provide suggestions.)	
教科書など Textbook(s) etc.	授業中に資料を配布する。(Handouts are provided in class.)	
成績評価の方法 Manner of Assessment	出席(Attendance)10%、学外研修前レポート(Pre-field-trip paper)30%、学外研修後レポート(Post-field-trip paper)30%、プレゼンテーション(Presentation)30%	

【授業の内容 Contents】

三重の社会と文化を学習する。学期中4回学外研修に出かける。(学外研修には火曜日午後の7、8、9、10限を当てる。)行き先は、三重の歴史、社会、文化について見学・学習できる場所とする。学外研修前に行き先についての事前学習をし、研修後に振り返りの学習をする。また、学期末にパワーポイントプレゼンテーションを行う。(Students learn together the society and culture of Mie. The class includes 4 field trips per semester. (Two class sessions [7, 8, 9, 10 class periods] are used for one field trip on Tuesday afternoons.) Field trip destinations include places where students can observe and learn history, society and culture of Mie. Students research and learn the destinations prior to the field trips, and discuss the findings after the field trips. Also, a semester-end PowerPoint presentation is assigned.)

【授業計画 Syllabus】

- 第1回：オリエンテーション Orientation
- 第2回：学外研修①事前学習 Pre-trip study
- 第3回：学外研修① Field trip1 (7, 8, 9, 10限 14:40-17:50)
- 第4回：学外研修①振り返り学習、学外研修②事前学習 Post-trip study, Pre-trip study
- 第5回：学外研修② Field trip 2 (7, 8, 9, 10限 14:40-17:50)
- 第6回：学外研修②振り返り学習、学外研修③事前学習 Post-trip study, Pre-trip study
- 第7回：学外研修③ Field trip 3 (7, 8, 9, 10限 14:40-17:50)
- 第8回：学外研修③振り返り学習、学外研修④事前学習 Post-trip study, Pre-trip study
- 第9回：学外研修④ Field trip 4 (7, 8, 9, 10限 14:40-17:50)
- 第10回：学外研修④振り返り学習 Post-trip study
- 第11回：休み No class
- 第12回：授業 Class
- 第13回：授業 Class
- 第14回：休み No class
- 第15回：休み No class
- 第16回：口頭発表 Oral presentation

【注意事項 Important Notes】

学外研修には7、8、9、10限の時間帯を当てるので、7、8限に他のクラスを受講している学生はこのクラスを受講できない。(Because two class sessions [7, 8, 9, 10 class periods] are used for one field trip, students who are taking another class in the 7, 8 class periods cannot take this class.)

学外研修には一台のバスに乗って行くが、バスの座席に限りがあるので、受講希望者数が座席数を上回る場合、いくつかの学生には受講を取りやめてもらわなければならない。例えば初回の授業を欠席した学生は、受講をお断りする可能性が高い。(Students go on a field trip by a bus, whose seats are limited. If the number of students who want to take this class exceeds the number of the bus seats, some students have to be dismissed from this class, e.g., Students who did not show up the first class meeting of the semester may be dismissed from this class.)

レベル Level	授業科目 Subject
選抜科目 Electives	日本事情「メディアと日本」 Japanese Culture & Society Media and Japan
	◎教養教育単位認定科目 ◎Credit Recognition by CLAS (College of Liberal Arts and Science)
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
栗田 聡子 Satoko Kurita	後期 木曜日 5・6限 Spring, Thu. 5-6 periods
授業の目標 Objectives	1) 日本のメディア事情から日本の文化と社会、日本人の心理的傾向について考え理解する、2) (自国のメディア事情や文化と比較して) 日本社会の特色や問題について考える、3) ディスカッションを通して国際交流を促進する、4) プレゼンテーションを通じて情報を伝える技術を学ぶ。
教科書など Textbook(s) etc.	指定しない
成績評価の方法 Manner of Assessment	課題と授業への参加の積極性

【授業の内容 Contents】

この授業は日本語上級クラスの留学生および日本人学生を対象とし、メディアを通して日本の社会や文化を理解するだけでなく、情報社会に生きる私たちの在り方について皆で考え討論します。言語は日本語を使用します。

【授業計画 Syllabus】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 社会を映す鏡—メディア・グループ発表について
- 第3回 広告から見える日本①
- 第4回 広告から見える日本②
- 第5回 流行語から見える日本
- 第6回 映画から見える日本
- 第7回 映画鑑賞会①
- 第8回 映画鑑賞会②
- 第9回 SNS から見える日本
- 第10回 報道から考える日本
- 第11回 グループ発表準備
- 第12回 グループ発表①
- 第13回 グループ発表②
- 第14回 グループ発表③
- 第15回 プレゼンテーション評価と総括
- 第16回 レポート提出

Ⅱ. 国際キャリアアップコース

International Career Development Course : Syllabi

~Spring Semester~

~Fall Semester~

1. 国際キャリアアップコースの目的

- 1) このコースは、グローバルな視野を持って活躍するために必要なコミュニケーション能力（英語力を含む）や異文化理解能力等を高めるための科目群です。各自の関心に応じて必要な科目を履修して下さい。
- 2) 英語の科目では、日本人学生と留学生が同じクラスで学び、議論することを通じ、これらの能力を高めることができます。
- 3) 海外留学を希望する日本人学生にとっても有益な準備となるコースです。

2. 履修登録の方法

本コースには、講義科目と海外研修科目があり、それぞれ履修登録方法が異なります。また、学部正規生と非正規生でも履修登録方法が異なります。

①講義科目

- 1) 講義科目は、学部生、大学院生、研究生、特別聴講学生(交換留学生)など、誰でも履修することができます。
- 2) 学部正規生は、教養教育の統合教育科目として Web 登録により期限までに履修登録してください。学部の単位認定基準に基づき教養教育の単位を取得することができます。(ただし「日本文化紹介」は教養教育の単位認定対象外のため、履修希望者は下記3)にしたがって国際交流センターにて履修登録してください。)
- 3) 学部正規生以外の学生は、前期は4月23日(月)、後期は10月15日(月)の17時までに国際交流センターで日本語教育コースの履修届を使って履修登録をしてください。

②海外研修科目

科目毎に募集時期および応募・選考方法が異なります。応募方法は、科目毎に学生メールまたは国際交流センターの掲示板等で周知されます。指定の方法に従って国際交流センターで申し込んでください。Tri-U 国際ジョイントセミナー&シンポジウムを修了した学部正規生は教養教育の単位を取得することができます。

1. The Objectives of the Course

- 1) This course offers various subjects useful for the students who wish to develop their communication skills (including English competency) and intercultural awareness which are required to be a global-minded citizen. Please sign up for any program depending on the interest of each student.
- 2) In the lectures given in English, both Japanese and international students will study and discuss in the same class so as to enhance the skills mentioned above.
- 3) This course also offers good preparation for the Japanese students who wish to study abroad.

2. The Registration of the Course

The Course consists of “Lecture” type and “Overseas program” type. Registration procedure is different between the two types. The procedure also differs between regular undergraduate students and others.

① Lectures

- 1) Any students including regular and non-regular students, undergraduate and graduate students, research students and special auditing students (exchange students) can sign up for the lecture classes.
- 2) Regular undergraduate students must register at the College of Liberal Arts and Sciences (CLAS). The credits will be given by the CLAS. (In the case of “Introduction to Japanese Culture”, credit will not be given from CLAS. Thus, please register this subject at CIER in accordance with 3) below.)
- 3) Students other than regular undergraduate students must register at the Center for International Education and Research (CIER) by using the registration form of Japanese language course no later than 5:00 p.m., April 23 (Mon) for the Spring Semester and 5:00 p.m., October 15 (Mon) for the Fall Semester.

② Overseas Program

Application and selection procedures are different depending on each overseas program. Instruction will be announced for each program through student email and/or on the bulletin board at the CIER. Please follow the instruction and apply by due date. Credits will be given by the CLAS to the regular undergraduate students who complete the program, “Tri-U International Joint Seminar & Symposium”.

授業形態 (言語) Type (Language)	科目名 Subject
講義 (英語) Lecture in English	メディアと日本 (英語) (前期) ★教養教育単位認定科目 Media and Japan (English) 「日本学」
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
栗田 聡子 Satoko Kurita	前期 月曜日9・10限 Spring, Mon. 9-10 periods
授業の目標 Objectives	メディアという材料を通して日本文化や社会状況などについて考え、ディスカッションやプレゼンテーションを通じて英語で表現できるようにすること。 To think about and get an insight into Japanese culture and social climate through media, and to express own opinions in English through discussions and group presentations.
教科書など Textbook(s) etc.	指定しない。
成績評価の方法 Manner of Assessment	レポートと授業への参加の積極性

【授業の内容 Contents】

この授業では、日本人学生と留学生が、日本の社会や文化についてともに考え英語で討論します。メディアのコンテンツ・情報伝達の在り方は、その国の文化や社会について知る上で欠かせない材料です。新聞からテレビ、映画やインターネットなど様々な形態のメディアを通じて日本の文化や社会、日本人の心理的傾向などについて考えていきます。

This course will offer both International students and Japanese students an opportunity to discuss Japanese society and culture in English. Media content and process of communication are a primary source for us to understand culture and society of a given country. In this course, students will get an insight into Japanese culture and society, as well as their psychological tendencies, through various forms of media, such as newspapers, television, film and the Internet.

【授業計画 Syllabus】

- 第 1 回 イン트로ダクションーメディア概要 Introduction - Outline of Japanese Media
- 第 2 回 グループ発表について About group presentation
- 第 3 回 広告から見える日本① Japanese culture and society in advertisements①
- 第 4 回 広告から見える日本② Japanese culture and society in advertisements②
- 第 5 回 テレビから見える日本 Japanese culture and society in TV programs
- 第 6 回 映画から見える日本 Japanese culture and society in films
- 第 7 回 映画鑑賞会① Watching a Japanese film①
- 第 8 回 映画鑑賞会② Watching a Japanese film②
- 第 9 回 SNS から見える日本 Japanese culture and society in SNS
- 第 10 回 報道から見える日本① Japanese culture and society in Journalism①
- 第 11 回 報道から見える日本② Japanese culture and society in Journalism②
- 第 12 回 グループ発表準備 Group presentation prep
- 第 13 回 グループ発表① Group presentations①
- 第 14 回 グループ発表② Group presentations②
- 第 15 回 プレゼンテーション評価と総括 : Evaluation review
- 第 16 回 レポート提出 Report Submission

授業形態 (言語) Type (Language)	科目名 Subject	
講義 (英語) Lecture in English	英語でエッセイ A English, Short Composition A	★教養教育単位認定科目 「国際理解特殊講義」
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule	
フロイド・マクダニエル Floyd McDaniel II	前期 木曜日 1・2限 Spring, Thu. 1-2 periods	
授業の目標 Objectives	I am aiming at teaching a skill; not merely "getting some information." Students can "get information" by reading a book. To develop this writing skill, students are expected to write and participate in conversation during class (every week). Students will also develop their intellects when learning to write in an engaging and/or persuasive manner. Finally, students will learn to become sensitive to the different English writing styles. Upon finishing this class, students should be able to confidently (1) write short essays in English in proper English writing styles, (2) revise their own essays - and the essays of others - for improvement beyond mere spelling and grammar, and (3) understand the difference between writing a personal introduction, telling a narrative (both first term), giving examples to illustrate a point, and giving reasons to support/defend a position (both second term).	
教科書など Textbook(s) etc.	"Writers at Work: The Short Composition" by Ann O. Strauch, Cambridge University Press. ISBN 0-521-54496-3	
成績評価の方法 Manner of Assessment	Grades are 30% based on in-class work, about 70% from 3 "large" compositions done throughout the semester.	

【授業の内容 Contents】

Practice writing short compositions (multi-paragraph) in English. Learning American/English styles and formats of short composition writing.

【授業計画 Syllabus】

(Both semesters use the same textbook, but different parts. Students can take only one term, or both terms without repeating any parts.)

- Week 1 - Introduction and Class Overview
- Week 2 - Main Idea and introduction to first paper (interview)
- Week 3 - Main Idea (continued), Body and Interviewing
- Week 4 - Effective "bodies"
- Week 5 - Concluding a short composition
- Week 6 - Revising
- Week 7 - Editing
- Week 8 - Turn in first writing, begin "Narrative" writing
- Week 9 - Writing effective "narrative"-style bodies
- Week 10 - Revising 2 - Deleting irrelevant material
- Week 11 - Editing 2 - Verb Tense
- Week 12 - Turn in second writing, begin "Proverbs and Quotations"
- Week 13 - Reacting to a Proverb or Quote with your own opinions
- Week 14 - Revision (in class) or Proverb/Quote paper
- Week 15 - Edit final paper
- Week 16 - Submit final paper, class feedback and parting words.

授業形態 (言語) Type (Language)	科目名 Subject
講義 (英語) Lecture in English	英語でエッセイ B English, Short Composition B ★教養教育単位認定科目 「国際理解特殊講義」
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
フロイド・マクダニエル Floyd McDaniel II	後期 木曜日 1・2限 Fall, Thu. 1-2 periods
授業の目標 Objectives	I am aiming at teaching a skill; not merely "getting some information." Students can "get information" by reading a book. To develop this writing skill, students are expected to write and participate in conversation during class (every week). Students will also develop their intellects when learning to write in an engaging and/or persuasive manner. Finally, students will learn to become sensitive to the different English writing styles. Upon finishing this class, students should be able to confidently (1) write short essays in English in proper English writing styles, (2) revise their own essays - and the essays of others - for improvement beyond mere spelling and grammar, and (3) understand the difference between writing a personal introduction, telling a narrative (both first term), giving examples to illustrate a point, and giving reasons to support/defend a position (both second term).
教科書など Textbook(s) etc.	"Writers at Work: The Short Composition" by Ann O. Strauch, Cambridge University Press. ISBN 0-521-54496-3
成績評価の方法 Manner of Assessment	Grades are 30% based on in-class work, about 70% from 3 "large" compositions done throughout the semester.

【授業の内容 Contents】

Practice writing short compositions (multi-paragraph) in English. Learning American/English styles and formats of short composition writing.

【授業計画 Syllabus】

(Both semesters use the same textbook, but different parts. Students can take only one term, or both terms without repeating any parts.)

Week 1 - Introduction and Class Overview

Week 2 - Main Idea, specifically one that can be supported with examples showing its truth

Week 3 - Parts of a Main Idea + Body (supporting details)

Week 4 - Structuring the Body and giving sufficient detail

Week 5 - Revising the work of others, checking understanding

Week 6 - Editing

Week 7 - Turn in the First writing, begin "Supplying Reasons"

Week 8 - Main Ideas that force us to ask "Why?"

Week 9 - The Body: Reasons v. Details

Week 10 - Revising 2 - Transition Signals, Conclusion

Week 11 - Editing 2 - Sentence fragments and Dependent Clauses

Week 12 - Turn in "Reasons" paper, begin "Summaries"

Week 13 - Writing a short summary of an article or story

Week 14 - Revising the summary

Week 15 - Editing with an eye for brevity

Week 16 - Submit final paper, class feedback and parting words.

授業形態 (言語) Type (Language)	科目名 Subject	
講義 (英語) Lecture in English	世界遺産と私たちA Our World Heritage A ★教養教育単位認定科目 「国際理解特殊講義」	
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule	
ブライアン・ジェームズ・マホニー Mahoney, Brian James	前期 金曜日 1・2限 Spring, Fri. 1-2 periods	
授業の目標 Course Objectives	<p>◆This course will introduce the student to several amazing wonders, some natural, some man-made, around our world and focus on understanding key points of interest associated with each of these wonders. The importance of these wonders in our world and also the threats that these wonders face will be examined and discussed.</p> <p>◆The specific goals of the course are for students to learn about: the UNESCO World Heritage Centre & World Heritage sites, including those that are currently under in danger status. Additionally, students will learn to write introductory research reports covering aspects relating to Criteria for establishing Outstanding Universal Value, amongst other key points. For students to create personal artwork that along with site research can be presented / discussed with members of our class.</p>	
教科書など Textbook(s) etc.	Materials will be provided by the instructor. Students have access to university computers made available in the classroom.	
成績評価の方法 Manner of Assessment	100 total points. 1st assignment (25 points), 2nd assignment (25 points). Final assignment: Two parts (25 points each).	

【授業の内容 Contents】

To introduce, explore and reflect upon the many wonders, both natural and man-made, that exist around our world. Extended reading, feature film & documentary, oral presentation and written research reports will also give students the opportunity to express facts, viewpoints and opinions in English. A creative art project is also an important component of this course.

【授業計画 Syllabus】

Class 1: Course Introduction. Students will respond in writing to several questions in regards to the course topic.

Class 2: Student introductions will be followed by an introduction to Assignment #1 (UNESCO World Heritage Site List, etc.)

Class 3: Assignment #1 preparations will continue. Students will begin Assignment #1 presentations.

Class 4: Assignment #1 presentations will continue. Assessment of student work will be provided for each student.

Class 5: Students will begin preparations for Assignment #2 Art Talk. Topics include, Art Deco architecture, Rediscovering Japan heritage, amongst others.

Class 6: Students will be provided with art materials for work on Part One of Art Talk. Examples include, sketch, watercolor/paint, woodblock print, etc. Students will be notified about Off Campus Excursion to Mie Prefectural Art Museum.

Class 7: Students will continue working on Part One of the project. Students will begin preparations for Part Two of the assignment. Part Two includes an accompanying media-based presentation of the topic including personal art

work.

Class 8 & 9: During these two class sessions students will present their work individually and later in a class-wide format.

Assessment of student work (Parts One & Two) will be provided for each student.

Class 10: In preparations for our final assignment, students will be introduced to the topic. Topics include, World Heritage in Danger, Religious Heritage Sites in Asia, Local Heritage in Mie prefecture, amongst others.

Class 11: Students will be notified about their second Off Campus Excursion to a Local Heritage in Mie prefecture.

Additionally, students will begin researching and working on their third and final assignment.

Class 12: Research, art work preparations will continue for third and final assignment.

Class 13: Final preparations will continue in class for third and final assignment

Class 14 & 15: Students will present their final assignment work individually and later in a class-wide format.

Class 16: Assessment of student work for final assignment including an overall assessment will be provided for each and every student.

授業形態 (言語) Type (Language)	科目名 Subject	
講義 (英語) Lecture in English	世界遺産と私たち B Our World Heritage B ★教養教育単位認定科目 「国際理解特殊講義」	
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule	
ブライアン・ジェームズ・マホニー Mahoney, Brian James	後期 金曜日 1・2限 Fall, Fri. 1-2 periods	
授業の目標 Course Objectives	<p>◆This course will introduce the student to several amazing wonders, some natural, some man-made, around our world and focus on understanding key points of interest associated with each of these wonders. The importance of these wonders in our world and also the threats that these wonders face will be examined and discussed.</p> <p>◆The specific goals of the course are for students to learn about: the UNESCO World Heritage Centre & World Heritage sites, including those that are currently under in danger status. Additionally, students will learn to write introductory research reports covering aspects relating to Criteria for establishing Outstanding Universal Value, amongst other key points. For students to create personal artwork that along with site research can be presented / discussed with members of our class.</p>	
教科書など Textbook(s) etc.	Materials will be provided by the instructor. Students have access to university computers made available in the classroom.	
成績評価の方法 Manner of Assessment	100 total points. 1st assignment (15 points), 2nd assignment (50 points). Final assignment: Two parts (25 points & 10 points).	

【授業の内容 Contents】

To introduce, explore and reflect upon the many wonders, both natural and man-made, that exist around our world. Extended reading, feature film & documentary, oral presentation and written research reports will also give students the opportunity to express facts, viewpoints and opinions in English. A creative art project is also an important component of this course.

【授業計画 Syllabus】

Class 1: Course Introduction. Students will respond in writing to several questions in regards to the course topic.

Class 2: UNESCO World Heritage Centre: An introduction to the preservation efforts of three key sites, Abu Simbel (Egypt), Borobudur (Indonesia), and Venice (Italy) that led to the establishment of the World Heritage Charter. Preliminary list / International Council on Monuments & Sites / Selection Committee.

Class 3: Project One: World Heritage in Danger. Criteria for establishing Outstanding Universal Value will be discussed. Part One of the film "Mountain Patrol" will be shown in class.

Class 4: Part two of the film "Mountain Patrol" will be shown in class. Key issues raised in the film will be discussed, for example: indigenous people's land rights, resource extraction on protected land, maintaining biodiversity vs. economic profit, etc.

Class 5: Students will receive one In Danger site from those (currently 54 sites) on the World Heritage list for further research. Students will begin preparations (rough draft) for a research report about the site.

Class 6: Sketch books will be provided for each student. They will begin to prepare artwork that reflects the current in danger status of the site. Sketch ideas may include, a drawing, storyboard, etc.

Class 7: Research Report (final draft) for in danger site is due in class. Students will continue to prepare their artwork.

Classes 8 / 9: During these two class sessions students will present their work individually and later in a class-wide format.

Assessment of student work (Research Report / Artwork / Presentation) will be provided for each student.

Class 10: Project Two: Topics may include, Religious Heritage Sites in Asia, Local Heritage in Mie prefecture, Earthen Architecture (WHEAP Programme), etc. Students will be notified about off campus visit to Mie Prefectural Art Museum.

Class 11: Students will prepare a second Research Report (rough draft) for the topic under focus.

Class 12: The second project includes a media presentation. Students will incorporate a media presentation along with their research report.

Class 13: Research Report (final draft) for topic is due in class. Students will continue to prepare their media presentation.

Class 14 & 15: Students will present their final assignment work in a class-wide format.

Assessment of student work (Research Report / Slideshow / Presentation) will be provided for each student.

Class 16: An overall assessment will be provided for each and every student.

授業形態 (言語) Type (Language)	科目名 Subject	
講義 (英語) Lecture in English	環境問題と地球A Environmental Issues & Our Planet Earth A ★教養教育単位認定科目 「環境学 A」	
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule	
ブライアン・ジェームズ・マホニー Mahoney, Brian James	前期 金曜日 3・4限 Spring, Fri. 3-4 periods	
授業の目標 Objectives	<p>◆To study and evaluate various environmental issues relating to global warming, biodiversity, our planet earth and to begin to recognize the impact these pose to life and sustainability.</p> <p>◆The goal of this course is for students to: Learn about the current state of the environment through the WWF Living Planet Index 2016 / 2018 report, read and write clearly with detail about the life and environmental activism of Nobel Peace Prize recipient Wangari Maathai, and to assess the current state of the plastic waste crisis here in Japan and around the world. Students will be able to describe environmental issues and explain about ways to solve these issues through the "four levels of thinking" model (WWF).</p>	
教科書など Textbook(s) etc.	The text for this course, World Wildlife Fund for Nature Living Planet Index (LPI) 2016 / 2018 editions, are available for free online. Wangari Maathai's text, <i>Unbowed</i> , must be purchased by the student (details will be provided in class). Any additional materials will be provided by the instructor. Students have access to university computers made available in the classroom.	
成績評価の方法 Manner of Assessment	100 total points: 1st assignment (35 points), 2nd assignment (35 points), 3rd assignment (15 points), Class attendance (15 points). *Students who miss 1/3 or more of classes will not receive credit.	

【授業の内容 Contents】

To study and evaluate various environmental issues relating to global warming, biodiversity, our planet earth and to begin to recognize the impact these pose to life and sustainability.

【授業計画 Syllabus】

Class 1: Course Introduction. Students will respond in writing to several questions in regards to the course topic.

Class 2: Student introductions will be followed by an introduction to Assignment #1 (Environmental Activism, examples include individuals such as Wangari Matthai, plus organizations, including WWF.)

Class 3: Assignment #1 preparations will continue. Students will view the film/documentary about the illicit trade in Tibetan Antelope fur & especially the movement which fought successfully against it.

Class 4: Having been introduced to the ideas of Environmental Activism, students will select an individual

from a list of notable environmental activists and begin basic research for a class-wide presentation.

Class 5: Assignment #1 preparations will continue as students craft both a PPT and talk about the individual they have selected.

Class 6: Students will present their PPT and talk during this week. An assessment will be provided for each student.

Class 7: Preparations for Assignment #2 will begin as students will need to compare & contrast food culture/animal welfare/environmental sustainability. The Brazilian Cattle Industry and the local cattle industry in Mie prefecture, Matsuzaka city will be under focus.

Class 8: Students will be introduced to the global food industry with a focus on the cattle industry. Several articles will be discussed in regards to Japan's food culture & its specialized meat industry.

Class 9: A documentary about the Brazilian cattle industry will be shown in class. Students will work to find both similarities and differences between the topics under focus and craft an essay for response.

Class 10: Students will select an endangered species and conduct research about the animal. A documentary about Orcas, and the animal entertainment industry in the United States will be shown.

Class 11: Students will continue working on research about their chosen species. Preparations for Part Two will begin as students will work to create a personal sketch.

Class 12 & 13: Students will focus on crafting their presentation that will incorporate a PPT slideshow with their sketch for an individual talk and class wide discussion. Assessment of work will be provided.

Class 14 & 15: Over these final two sessions, students will be shown a film about the exploitation of sea life, most notably that of dolphins & larger whales. A class wide discussion will be held.

Class 16: Assessment of individual student work including an overall assessment will be provided for each and every student.

授業形態 (言語) Type (Language)	科目名 Subject	
講義 (英語) Lecture in English	環境問題と地球B Environmental Issues & Our Planet Earth B ★教養教育単位認定科目 「環境学 A」	
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule	
ブライアン・ジェームズ・マホニー Mahoney, Brian James	後期 金曜日 3・4 限 Fall, Fri. 3-4 periods	
授業の目標 Objectives	<p>◆To study and evaluate various environmental issues relating to global warming, biodiversity, our planet earth and to begin to recognize the impact these pose to life and sustainability.</p> <p>◆The goal of this course is for students to: Learn about the current state of the environment through the WWF Living Planet Index 2016 / 2018 report, read and write clearly with detail about the life and environmental activism of Nobel Peace Prize recipient Wangari Maathai, and to assess the current state of the plastic waste crisis here in Japan and around the world. Students will be able to describe environmental issues and explain about ways to solve these issues through the "four levels of thinking" model (WWF).</p>	
教科書など Textbook(s) etc.	The text for this course, World Wildlife Fund for Nature Living Planet Index (LPI) 2016 / 2018 editions, are available for free online. Wangari Maathai's text, <i>Unbowed</i> , must be purchased by the student (details will be provided in class). Any additional materials will be provided by the instructor. Students have access to university computers made available in the classroom.	
成績評価の方法 Manner of Assessment	Class Point total: 100 points. Assignment #1 (25 points), Assignment #2 (25 points), Final Assignment (Two Parts: 25 points each).	

【授業の内容 Contents】

To study and evaluate various environmental issues relating to global warming, biodiversity, our planet earth and to begin to recognize the impact these pose to life and sustainability.

【授業計画 Syllabus】

Class 1: Course Introduction. Students will respond in writing to several questions in regards to the course topic.

Class 2: Part One: Energy Issues in Japan. Nuclear Power, Nuclear Waste & Alternative Energy issues will be introduced & discussed.

Class 3: Students will view a documentary about nuclear waste [Into Eternity]. Considering the information from the film, students will be informed about the current state of nuclear waste disposal and future disposal ideas as considered by the government of Japan.

Class 4, 5: Students will be introduced to WWF's Problem Solving in a Complex World and to the "four levels of thinking" model for solving complex issues. Student's will consider how to solve the issues relating to nuclear energy and nuclear waste.

- Class 6: The Carbon Cycle & Our Planet Earth: Students will learn about the Carbon Cycle and view related documentary [Nature's Great Events: Salmon Migration].
- Class 7: Students will view a documentary [Green] and discuss about the effects of deforestation and the ever increasing erosion of vital eco-systems. A growing list of resources produced from palm oil and this impact on the environment will be discussed.
- Class 8 & 9: Students will consider the information from the documentaries, and WWF's "four levels of thinking" model to write a short report about the Carbon Cycle and the environment.
- Class 10: Part Two: Assessing the IUCN Red List. All animals are important to their environment. Students will select a vertebrate or invertebrate species of their choosing to research and prepare a Research Report and a media presentation for in class.
- Class 11: Students will select a vertebrate species from the wild & address these questions: What important role does the species play in its environment, and what if the numbers of this species were to fall too low or even to become extinct?
- Class 12 & 13: Student will begin to address these questions in their Research Report. They will also begin to prepare their media presentations in class.
- Class 14 & 15: Upon completion of their Research Reports & Media, students will present their work in class.
- Class 16: Students will receive a full assessment of their work throughout the semester.

授業形態 (言語) Type (Language)	科目名 Subject	
講義 (英語) Lecture in English	三重の社会と文化A	The Society and Culture of Mie A ★教養教育単位認定科目 「三重学」
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule	
正路 真一 Shinichi Shoji	前期 火曜日 7・8限 Spring, Tuesday. 7-8 periods	
授業の目標 Objectives	三重の社会と文化を理解し、これについて考え、意見を提言することができるようになる。(The objective of the class is to understand the society and culture of Mie, to think about them, and to provide suggestions.)	
教科書など Textbook(s) etc.	授業中に資料を配布する。(Handouts are provided in class.)	
成績評価の方法 Manner of Assessment	出席(Attendance)10%、学外研修前レポート(Pre-field-trip paper)30%、学外研修後レポート(Post-field-trip paper)30%、プレゼンテーション(Presentation)30%	

【授業の内容 Contents】

三重の社会と文化を学習する。学期中4回学外研修に出かける。(学外研修には火曜日午後の7、8、9、10限を当てる。)行き先は、三重の歴史、社会、文化について見学・学習できる場所とする。学外研修前に行き先についての事前学習をし、研修後に振り返りの学習をする。また、学期末にパワーポイントプレゼンテーションを行う。(Students learn together the society and culture of Mie. The class includes 4 field trips per semester. (Two class sessions [7, 8, 9, 10 class periods] are used for one field trip on Tuesday afternoons.) Field trip destinations include places where students can observe and learn history, society and culture of Mie. Students research and learn the destinations prior to the field trips, and discuss the findings after the field trips. Also, a semester-end PowerPoint presentation is assigned.)

【授業計画 Syllabus】

- 第1回：オリエンテーション Orientation
- 第2回：学外研修①事前学習 Pre-trip study
- 第3回：学外研修① Field trip1 (7, 8, 9, 10限 14:40-17:50)
- 第4回：学外研修①振り返り学習、学外研修②事前学習 Post-trip study, Pre-trip study
- 第5回：学外研修② Field trip 2 (7, 8, 9, 10限 14:40-17:50)
- 第6回：学外研修②振り返り学習、学外研修③事前学習 Post-trip study, Pre-trip study
- 第7回：学外研修③ Field trip 3 (7, 8, 9, 10限 14:40-17:50)
- 第8回：学外研修③振り返り学習、学外研修④事前学習 Post-trip study, Pre-trip study
- 第9回：学外研修④ Field trip 4 (7, 8, 9, 10限 14:40-17:50)
- 第10回：学外研修④振り返り学習 Post-trip study
- 第11回：休み No class
- 第12回：授業 Class
- 第13回：授業 Class
- 第14回：休み No class
- 第15回：休み No class
- 第16回：口頭発表 Oral presentation

【注意事項 Important Notes】

学外研修には7、8、9、10限の時間帯を当てるので、9、10限に他のクラスを受講している学生はこのクラスを受講できない。(Because two class sessions [7, 8, 9, 10 class periods] are used for one field trip, students who are taking another class in the 9, 10 class periods cannot take this class.)

学外研修には一台のバスに乗って行くが、バスの座席に限りがあるので、受講希望者数が座席数を上回る場合、いくつかの学生には受講を取りやめてもらわなければならない。例えば初回の授業を欠席した学生は、受講をお断りする可能性が高い。(Students go on a field trip by a bus, whose seats are limited. If the number of students who want to take this class exceeds the number of the bus seats, some students have to be dismissed from this class, e.g., Students who did not show up the first class meeting of the semester may be dismissed from this class.)

授業形態 (言語) Type (Language)	科目名 Subject	
講義 (英語) Lecture in English	三重の社会と文化B	The Society and Culture of Mie B ★教養教育単位認定科目 「三重学」
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule	
正路 真一 Shinichi Shoji	後期 火曜日 7・8限 Spring, Tuesday. 7-8 periods	
授業の目標 Objectives	三重の社会と文化を理解し、これについて考え、意見を提言することができるようになる。(The objective of the class is to understand the society and culture of Mie, to think about them, and to provide suggestions.)	
教科書など Textbook(s) etc.	授業中に資料を配布する。(Handouts are provided in class.)	
成績評価の方法 Manner of Assessment	出席(Attendance)10%、学外研修前レポート(Pre-field-trip paper)30%、学外研修後レポート(Post-field-trip paper)30%、プレゼンテーション(Presentation)30%	

【授業の内容 Contents】

三重の社会と文化を学習する。学期中4回学外研修に出かける。(学外研修には火曜日午後の7、8、9、10限を当てる。)行き先は、三重の歴史、社会、文化について見学・学習できる場所とする。学外研修前に行き先についての事前学習をし、研修後に振り返りの学習をする。また、学期末にパワーポイントプレゼンテーションを行う。(Students learn together the society and culture of Mie. The class includes 4 field trips per semester. (Two class sessions [7, 8, 9, 10 class periods] are used for one field trip on Tuesday afternoons.) Field trip destinations include places where students can observe and learn history, society and culture of Mie. Students research and learn the destinations prior to the field trips, and discuss the findings after the field trips. Also, a semester-end PowerPoint presentation is assigned.)

【授業計画 Syllabus】

- 第1回：オリエンテーション Orientation
- 第2回：学外研修①事前学習 Pre-trip study
- 第3回：学外研修① Field trip1 (7, 8, 9, 10限 14:40-17:50)
- 第4回：学外研修①振り返り学習、学外研修②事前学習 Post-trip study, Pre-trip study
- 第5回：学外研修② Field trip 2 (7, 8, 9, 10限 14:40-17:50)
- 第6回：学外研修②振り返り学習、学外研修③事前学習 Post-trip study, Pre-trip study
- 第7回：学外研修③ Field trip 3 (7, 8, 9, 10限 14:40-17:50)
- 第8回：学外研修③振り返り学習、学外研修④事前学習 Post-trip study, Pre-trip study
- 第9回：学外研修④ Field trip 4 (7, 8, 9, 10限 14:40-17:50)
- 第10回：学外研修④振り返り学習 Post-trip study
- 第11回：休み No class
- 第12回：授業 Class
- 第13回：授業 Class
- 第14回：休み No class
- 第15回：休み No class
- 第16回：口頭発表 Oral presentation

【注意事項 Important Notes】

学外研修には7、8、9、10限の時間帯を当てるので、9、10限に他のクラスを受講している学生はこのクラスを受講できない。(Because two class sessions [7, 8, 9, 10 class periods] are used for one field trip, students who are taking another class in the 9, 10 class periods cannot take this class.)

学外研修には一台のバスに乗って行くが、バスの座席に限りがあるので、受講希望者数が座席数を上回る場合、いくつかの学生には受講を取りやめてもらわなければならない。例えば初回の授業を欠席した学生は、受講をお断りする可能性が高い。(Students go on a field trip by a bus, whose seats are limited. If the number of students who want to take this class exceeds the number of the bus seats, some students have to be dismissed from this class, e.g., Students who did not show up the first class meeting of the semester may be dismissed from this class.)

授業形態 (言語) Type (Language)	科目名 Subject	
講義 (英語) Lecture in English	日本文化紹介 A Introduction To Japanese Culture A ★単位付与なし ★No credit	
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule	
新田貴士 Takashi Nitta	前期 金曜日 9・10限 Spring, Fri. 9-10 periods	
授業の目標 Objectives	<p>茶道と日本武術の基本的な事柄のうち、抹茶と柔術を、実習を通じて、学び会得する。</p> <p>茶道を学ぶ事で、まず抹茶をたてて、呑めるようになる。更に湯の音頭、点て方、茶の種類で、味が変わる事を実感できるようになる。</p> <p>武術のうち、体の裁きかた、基本の動作を学ぶ。それにより、とっさの場合の護身に役立つ事を目指とする。</p> <p>We learn basic styles of tea ceremony and actions of martial arts through practices and discussions.</p> <p>For the tea ceremony, we will make Maccha tea and drink it together. You will notice that the taste of the tea would depend on several factors such as temperature of hot water, kinds of tea powder and mixing technique. For Japanese martial arts, you will exercise basic motions and learn how to protect yourself against accidents.</p>	
教科書など Textbook(s) etc.	参考書：茶の本、岡倉天心、海南書房	
成績評価の方法 Manner of Assessment	実技に依る。	

【授業の内容 Contents】

日本文化の中で、静と動を代表する物として、茶道と武術を取り上げる。それら2つの基本的な事柄を、実習を通じて、学び会得する。特に、抹茶と柔術を取り上げる。

This class introduces you to "tea ceremony" and "martial arts" which represent "stillness" and "motion" in Japanese culture. You will obtain both knowledge and techniques through practices and discussions. It covers especially Maccha tea and Ju-jutsu.

【授業計画 Syllabus】

序論－茶道と武術の基本的内容

本論－茶道 1. お茶の点て方 2. 部分稽古 3. 茶器の意味 4. お手前実習

武術 1. 基本の手技 2. 基本の体さばき 3. 基本の当て身 4. 棒、短棒基礎

結論－茶道と武術の関係

Introduction: Fundamental contents of tea ceremony and martial arts

Main issue

Tea ceremony 1. How to make Maccha tea 2. Partial practices 3. Meaning of tea ceremony utensils
4. The practice

Martial arts 1. Hand techniques 2. Fundamental footwork 3. Attack techniques 4. Stick techniques

Conclusion: Relationship between tea ceremony and martial arts.

授業形態 (言語) Type (Language)	科目名 Subject	
講義 (英語) Lecture in English	日本文化紹介 B Introduction To Japanese Culture B ★単位付与なし ★No credit	
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule	
新田貴士 Takashi Nitta	前期 金曜日 9・10限 Fall, Fri. 9-10 periods	
授業の目標 Objectives	<p>茶道と日本武術の基本的な事柄のうち、各種日本茶と護身術を、実習を通じて、学び会得する。</p> <p>茶道を学ぶ事で、まず各種日本茶を容れて、呑めるようになる。更に湯の音頭、点て方、茶の種類で、味が変わる事を実感できるようになる。</p> <p>武術のうち、手解き、基本の体さばきを学ぶ。それにより、とっさの場合の護身に役立てる事を目標とする。</p> <p>We learn basic styles of tea ceremony and actions of martial arts through practices and discussions.</p> <p>For the tea ceremony, we will make Maccha tea and drink it together. You will notice that the taste of the tea would depend on several factors such as temperature of hot water, kinds of tea powder and mixing technique. For Japanese martial arts, you will exercise basic motions and learn how to protect yourself against accidents.</p>	
教科書など Textbook(s) etc.	参考書：茶の本、岡倉天心、海南書房	
成績評価の方法 Manner of Assessment	実技に依る。	

【授業の内容 Contents】

日本文化の中で、静と動を代表する物として、茶道と武術を取り上げる。それら2つの基本的な事柄を、実習を通じて、学び会得する。特に、各種の日本茶と護身術を取り上げる。

This class introduces you to "tea ceremony" and "martial arts" which represent "stillness" and "motion" in Japanese culture. You will obtain both knowledge and techniques through practices and discussions. It covers especially variety of Japanese tea and art of self-defense.

【授業計画 Syllabus】

序論-日本茶と護身術の基本的内容

本論-茶道 1. お茶の容れ方 2. 部分稽古 3. 茶器の意味 4. お手前実習

武術 1. 基本の手解き 2. 基本の体さばき 3. 基本の当て身 4. 棒、短棒基礎

結論-茶道と武術の関係

Introduction: Fundamental contents of Japanese tea and art of self-defense

Main issue

Japanese tea: 1. how to make Japanese tea, 2. techniques, 3. meaning of tea ceremony utensils, 4. the practice

Art of self-defense: 1. fundamental techniques 2. fundamental footwork 3. fundamental attack 4. Stick techniques

Conclusion: Relationship between tea ceremony and martial arts.

授業形態 Type	科目名 Subject
海外研修 Overseas Program	海外英語研修 A (ブリティッシュコロンビア大学) English Training Overseas A Location: University of British Columbia, Canada
担当教員 Instructor(s)	開講時間 Schedule
栗田 聡子 Satoko Kurita	前期集中 Intensive (Spring) 2019年9月8日～9月29日
授業の目標 Objectives	アカデミックスキルの習得、英語力の向上（特に会話とディスカッション）、国際的視野、異文化適応能力 Participants will acquire academic skills, improve communication skills in English (esp. conversation and discussion), broaden their views on the global community, and acquire ability to adopt themselves to different cultures.
教科書など Textbook(s) etc.	研修先にて支給される。 Text will be prepared by UBC.
成績評価の方法 Manner of Assessment	ブリティッシュコロンビア大学による評価システムに基づき評価。 Evaluation will be conducted based on the evaluation system of UBC.

【プログラムの内容 Contents】

本授業は英語力の向上と海外滞在経験による国際的視野の醸成を目的とする海外語学研修である。

1. 事前準備

- ・ 募集説明会：4月中旬
- ・ 第1回オリエンテーション（7月ごろ）：異文化理解・危機管理ワークショップ
- ・ 第2回オリエンテーション（8月中旬）：Placement Test および出発前オリエンテーション

2. 現地でのプログラム

「English for Global Citizen」～カナダの市民社会や国際性に関するテーマについて学びながら、英語のスピーキング力を向上させる3週間のプログラム。

<授業について>

1週間当たりの授業時間数は約26.5時間。月～木：約6時間 金：3.5時間

Morning classes (9:00-12:30) では、テーマに沿った授業 (Cross-cultural Communication, Canadian Society 等) を通じて専門的な語学力を身につける。Afternoon classes (13:30-15:45) は、グループプロジェクトやプレゼンテーション中心で、英語で意見を伝え合う授業となる予定。

<課外授業について>

週末のシアトルやウィスラーへの観光旅行のほか、料理、映画鑑賞、演奏会鑑賞、カーリング、ボランティアなどのアクティビティが企画されている（一部有料）。活動の詳細については、現地でのオリエンテーションにてお知らせ。

<滞在について>

ホームステイ（寝室1人部屋、1日3食）

3. 帰国後

振り返りワークショップ（帰国報告会）を実施。